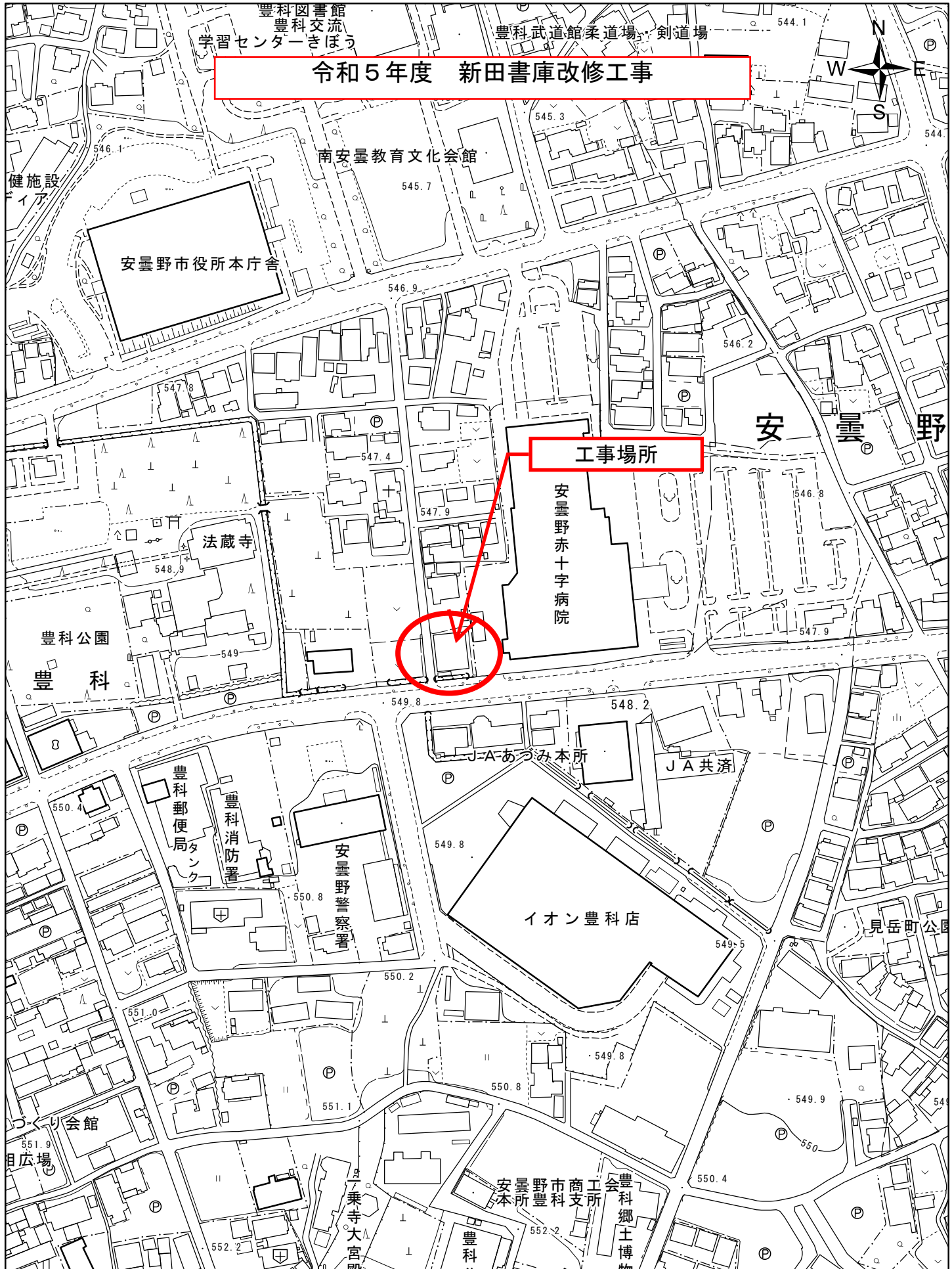


工 事 名		令和5年度 新田書庫改修工事																設計書		
施 工 箇 所		安曇野市 新田書庫																金抜き設計書		
設 計 大 要										施 工 方 法				請 負						
<div>■新田書庫の改修工事</div> <div><div>・1階 男子、女子、多目的便所の改修</div><div>・1階 機械室の既存暖房用ボイラーの残置燃料(灯油)の抜取り</div><div>・2階 事務室の照明器具更新、コンセント新設、網戸新設 ガラス面にカッティングシート貼、換気扇設置</div><div>・2階 湯沸室に電気温水器、混合栓新設</div></div>										施 工 期 間				日間						
										契約年月日				令和 年 月 日						
										竣工予定年月日				令和 5 年 11 月 13 日						
										契約保証方法				金銭的保証						
										<div>・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。</div> <div>・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。</div>										

位置図



1:2,500

0 45 90 180 m

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）

令和5年度 新田書庫改修工事

2. 工事場所： 安曇野市 新田書庫

3. 工事概要： 新田書庫の改修工事

- 【内部】
- ・ 1階 男子、女子、多目的便所の改修
 - ・ 1階 機械室の既存暖房用ボイラーの残置燃料（灯油）の抜取り
 - ・ 2階 事務室の照明器具更新、コンセント新設、網戸新設
ガラス面にカッティングシート貼、換気扇設置
 - ・ 2階 湯沸室に電気温水器、混合栓新設

4. 工 期： 契約日から 令和5年11月13日まで

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(3) 日・祝日は基本休工とする。休日、夜間に作業を行う場合は事前に協議をすること。

(4) 周辺住民の安全に十分配慮すること。

(5) 感染症対策は十分に講じること。

(6) 各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(7) 残土関係

~~・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

~~・建設発生土~~

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

~~・この工事は執務並行型の工事である。~~

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後14日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働

きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- ~~(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するように努めること。~~
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

~~18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について~~

~~受注者は、Ⅰ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。~~

~~ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。~~

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、
この限りではない。
イ. 完成写真を公表すること。
ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

総括表

工事設計書

	名 称	数 量	単位	金 額	摘 要
I	直接工事費	1	式		
II	共通仮設費				
	率仮設	1	式		
	積上仮設 交通誘導員 10人	1	式		
	純工事費				
III	現場管理費	1	式		
	工事原価				
IV	一般管理費	1	式		
	工事価格				
V	消費税	1	式		
	工事費				

工事設計書

[illegible]

工事設計書

[illegible]

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
B	機械設備工事						
1	撤去処分工事						
1)	衛生器具撤去工事		1.0	式			
2)	給水管撤去工事		1.0	式			
3)	排水管撤去工事		1.0	式			
4)	撤去材処分費		1.0	式			
	小計						
2	給排水衛生工事						
1)	衛生器具工事		1.0	式			
2)	給水設備		1.0	式			
3)	排水設備		1.0	式			
	小計						
3	暖房・換気設備工事						
	小計		1.0	式			
	計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	撤去処分工事						
1)	衛生器具撤去工事						
	和便器	タンク式	3.0	台			
	身障者用洋便器	タンク式	1.0	台			
	小便器	(床置き)	2.0	台			
	洗面器		3.0	台			
	掃除流し	バック付	1.0	台			
	壁付2バルブ混合栓		1.0	個			
	ガス給湯器 16号	2F湯沸室	1.0	台			
	1) -小々計						
2)	給水管撤去工事						
	鋼管	SGP20A	19.8	m			
	鋼管	SGP25A	6.0	m			
	保温撤去	スチロール+AGC 20/30	19.8	m			
	保温撤去	スチロール+AGC 25/30	6.0	m			
	2) -小々計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
3)	排水管撤去工事						
	排水用白ガス管	GP40	3.0	m			
	排水用白ガス管	GP50	3.0	m			
	排水用白ガス管	GP80	9.4	m			
	排水用白ガス管	GP100	7.8	m			
	排水用鉛管	LP40	1.5	m			
	排水用鉛管	LP50	1.6	m			
	排水用鉛管	LP75	4.6	m			
	保温撤去 グラスウール+AGC	40/20	5.0	m			
	保温撤去 グラスウール+AGC	50/20	11.0	m			
	保温撤去 グラスウール+AGC	80/20	14.0	m			
	保温撤去 グラスウール+AGC	100/25	7.8	m			
	3) -小々計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
4)	撤去材処分費						
	分別、集積、積込み費						
	紙、繊維屑 保温材		0.05	ton			
	金属屑(干地)		0.38	ton			
	廃プラ、ガラス、陶磁器		0.30	ton			
	撤去材運搬費						
	紙、繊維屑 保温材		0.05	ton			
	金属屑(干地)		0.38	ton			
	廃プラ、ガラス、陶磁器		0.30	ton			
	撤去材処分費						
	紙、繊維屑 保温材		0.05	ton			
	金属屑(干地)	有価物 金属配管材 ヘビー H2	0.38	ton			
	廃プラ、ガラス、陶磁器		0.30	ton			
	4) -小々計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
2	給排水衛生工事						
1)	衛生器具工事						
	洋風便器＋温水暖房便座 [ロータンク式]	CS232BM, SH232BF, TCF6623	2.0	台			
	身障者用洋便器＋温水暖房便座 (ロータンク式)	CS20A, SS30BFL, TCF6623	1.0	台			
	小便器、フラッシュバルブ (壁排水)	UFH500, TG600PL	2.0	台			
	手洗器 (壁排水)	L210C, T210QRC,	2.0	台			
	手洗器 (壁排水)	LSL870APR	1.0	台			
	掃除流し	SK22A	1.0	台			
	紙巻器	YH650	3.0	個			
	2F 湯沸室 電気温水器10L以下 (置き型)	REW06A1BH	1.0	台			
	2F 湯沸室 壁付混合栓	T330DR	1.0	個			
	1) -小々計						

工事設計書

[illegible]

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
3)	排水設備						
	硬質塩化ビニル管	VP40 機械室・便所	3.0	m			
	硬質塩化ビニル管	VP50 機械室・便所	8.0	m			
	硬質塩化ビニル管	VP75 機械室・便所	13.0	m			
	硬質塩化ビニル管	VP100 機械室・便所	8.0	m			
	保温工事 グラスウール+AGC	40/20	3.0	m			
	保温工事 グラスウール+AGC	50/20	8.0	m			
	保温工事 グラスウール+AGC	75/20	13.0	m			
	保温工事 グラスウール+AGC	100/20	8.0	m			
	掃除口	COA80	1.0	個			
	掃除口	COA100	2.0	個			
	コアー抜	100mm 120～150	2.0	カ所			
	3) -小々計						

工事設計書

[illegible]

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
C	建築工事						
1	解体撤去処分工事						
1)	解体撤去工事費		1.0	式			
2)	分別、集積、積込み費		1.0	式			
3)	解体材運搬費		1.0	式			
4)	解体材処分費		1.0	式			
5)	7ｽﾍﾞｽﾄ含有物処分費	床ｼｰﾄ みなしﾊﾞﾙ3 積込・運搬・処分費	1.0	式			
	小計						
2	建築工事						
1)	1 階改修工事		1.0	式			
2)	2 階改修工事		1.0	式			
	小計						
	計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	解体撤去処分工事						
1)	解体撤去処分工事						
	男子、女子便所ライニング撤去費	CB下地磁器100角タイル貼	1.0	式			
	男子便所 床点検口撤去費	7Lに枠 600角	1.0	式			
	男子、女子便所トイレース撤去費		1.0	式			
	多目的便所床シート、ソフト巾木撤去費	みなしレベル3想定	3.0	m2			
	同上 壁、天井養生費	ビニールシート 0.08mm 一重張り	18.0	m2			
	1) -小々計						
2)	分別、集積、積込み費						
	木屑		0.27	ton			
	金属屑	床点検口	0.01	ton			
	コンクリート屑		1.20	ton			
	廃プラ、ガラス、陶磁器屑		0.04	ton			
	2) -小々計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
3)	解体材運搬費						
	木屑		0.27	ton			
	金属屑	床点検口	0.01	ton			
	コンクリート屑		1.20	ton			
	廃プラ、ガラス、陶磁器屑		0.04	ton			
	3) -小々計						
4)	解体材処分費						
	木屑		0.27	ton			
	金属屑 有価物	アルミ床点検口	0.01	ton			
	コンクリート屑		1.20	ton			
	廃プラ、ガラス、陶磁器屑		0.04	ton			
	4) -小々計						

工事設計書

[illegible]

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
2	建築工事						
1)	1 階改修工事						
	男子、女子便所 床コンクリート穴埋め	補強鉄筋共	3.0	ヶ所			
	男子便所 床点検口	SUS 600角	1.0	ヶ所			
	男子、女子便所床樹脂モルタル塗り	磁器タイル上 張り物下地	11.0	m2			
	多目的便所床樹脂モルタル塗り	シート撤去後下地調整	2.0	m2			
	男子、女子便所ライニング LGS90	L2・3	4.0	m2			
	男子、多目的便所ライニング LGS90ダブル	L1・4	6.0	m2			
	ワン合板張り	T1 t 12	10.0	m2			
	化粧ケイカル板貼	t 6	11.0	m2			
	ライニングトップ ホーストフォーム L-2・3	男子、女子便所 120*20	4.0	m			
	ライニングトップ ホーストフォーム L-1・4	男子、多目的便所 200*20	6.0	m			
	床 汚垂石	800*600*5.5 材工共	2.0	枚			
	床 長尺塩ビシート貼 t 2.0	男子、女子、多目的便所	13.0	m2			
	巾木 ソフト巾木 H100	多目的便所	5.0	m			
	トイレース P-1	男子便所 運搬取付共	1.0	ヶ所			
	表示付きサターン錠取付	女子便所既存入口戸	1.0	ヶ所			
	シーリング シリコン5*5	ライニング 甲板、化粧ケイカル板取合い部	41.0	m			
	1) -小々計						

工事設計書

[illegible]

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
D	電気設備工事						
1	撤去処分工事		1.0	式			
2	照明器具工事		1.0	式			
3	2階事務室換気扇電源工事		1.0	式			
4	1階トイレコンセント増設工事		1.0	式			
5	2階事務室コンセント増設工事		1.0	式			
6	2階事務室電話・情報設備工事工事		1.0	式			
	小計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	撤去処分工事						
	2F事務室						
	A' : 蛍光灯器具 埋込型 撤去	FLR40x2灯	12.0	台			
	B' : 蛍光灯器具 埋込型 撤去	FLR40x1灯	5.0	台			
	E' : 蛍光灯器具 直付型 撤去	FLR40x1灯	1.0	台			
	1階トイレ						
	B' : 蛍光灯器具 埋込型 撤去	FLR40x1灯	2.0	台			
	C' : 蛍光灯器具 埋込型 撤去	FL20x2灯	2.0	台			
	D' : 蛍光灯器具 直付型 撤去	FL20x1灯	2.0	台			
	同上器具処分費	蛍光灯具 (混合物屑)					
	集積、積込み費		0.04	ton			
	撤去材運搬費		0.04	ton			
	撤去材処分費		0.04	ton			
	小計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
2	照明器具工事						
	A：一体型LEDへーサイト 埋込型	HF32x2灯 XLX459VEN LE9 相当	12.0	台			
	B：一体型LEDへーサイト 埋込型	HF32x1灯 XLX429REN LE9 相当	7.0	台			
	C：一体型LEDへーサイト 埋込型	HF16x1灯 XLX219VEN LE9 相当	2.0	台			
	D：LEDﾌﾗｯｸｯﾄ 直付型	FL20x1灯 LGB81805 LB1 相当	2.0	台			
	E：一体型LEDへーサイト 直付防湿防雨	HF32x1灯 XLW422AENZ LE9 相当	1.0	台			
	小計						
3	2階事務室換気扇電源工事						
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 天井内	5.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 管内	2.0	m			
	メタルモール A型	1 種金属線ぴ(MM1)	1.0	m			
	露出スイッチボックス	1個用	2.0	箇所			
	埋込コンセント	2P15A×1	1.0	箇所			
	小計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
4	1階トイレコンセント増設工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 天井内	35.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	12.0	m			
	メタルモール A型	1 種金属線ひ (MM1)	8.0	m			
	露出スイッチボックス	1個用	4.0	箇所			
	埋込コンセント	2P15A×2 接地極・接地端子付	3.0	箇所			
	パネルプレート	角型	1.0	箇所			
	機器結線費	パネルヒータ	1.0	箇所			
	既設電灯盤改修	ELCB2P20A取付	2.0	箇所			
	小計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
5	2階事務室コンセント増設工事						
	ケーブル	EM-EEF2. 0-3C 2重床内	16.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2. 0-3C 管内	2.0	m			
	メタルモール A型	1種金属線ひ(MM1)	0.5	m			
	ハネス用OAタップ 5m	8コ口抜け止めアース付 電源表示ランプ付	2.0	個			
	ハネス用OAタップ 5m	2コ口抜け止めアース付 電源表示ランプ付	2.0	個			
	ハネスジョイントボックス	3心・ハネス2分岐・送り付	3.0	個			
	小計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
6	2階事務室電話・情報設備工事工事						
	ケーブル	EBT0.4-2P 2重床内	14.0	m			
	ケーブル	EBT0.4-2P 管内	5.0	m			
	ケーブル	EM-UTP 0.5-4P 2重床内	7.0	m			
	ケーブル	EM-UTP 0.5-4P 管内	3.0	m			
	メタルモール A型	1種金属線び(MM1)	2.0	m			
	露出モジュラジャック	電話用 6極4心	2.0	個			
	ケーブル成端費	LAN用ケーブル	2.0	箇所			
	ハネシヨイントボックス	3心・ハネシ2分岐・送り付	3.0	個			
	小計						

令和 5 年度 新田書庫改修工事

令和5年度新田書庫改修工事仕様書

I 工事概要

1

工事場所

安曇野市豊科 5712-1

2

敷地面積 (㎡)

3

工事項目

工事内容・設計図による

II 建築工事仕様

1

共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工編）平成31年版」（以下「改修標仕」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工編）平成31年版」（以下「標仕」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説 平成24年版」（以下、「解体共仕」）による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。

2

特記仕様

(1) 項目は、番号に印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、印の付いたものを適用する。

印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の() 内の表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の[] 内の表示記号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) 特記事項に記載の< > 内の表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

III 設備工事と取合い

9

設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。

10

設計GL

※図示

設計GL=現状GL

11

化学物質の濃度測定

測定方法

※ﾊﾞｯｸﾞ法（拡散法）

・ﾌｹﾞﾝｸﾞ法（吸引法）

[1.5.9]

検査機関

※環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承認した者

測定物質

※ﾎﾙﾑﾙﾌﾞﾃﾞ'ﾄﾞ

※ﾎﾙﾑ

※ｷﾛｼﾝ

※ﾌｻﾞﾙﾎﾞﾝﾃﾞ'ﾝ

※ﾊﾞﾗﾝｸﾞﾛﾌﾞﾎﾞﾝﾃﾞ'ﾝ

※ｽﾌﾛﾝ

測定箇所(室)

計

箇所

※試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。

化学物質の室内汚染濃度指針値

ホルムルブテド	ホルム	キリン	エチルベン	パラジクロロベン	スフロ	備考
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

※作成する

(1.8.1～1.8.3) (表1.8.1)

※完成図（※設計図書で示したものを全て

・標仕表1.7.1による

○監督員の指示による）

作成方法

※原図

用紙

(※ﾄｰｼﾝｸﾞﾊﾞｰﾊﾞｰA1

・

作図方法

(※CADで作成し出力

・

・マイクロフィルム（ﾌｵｯﾀｰｶｰﾄﾞ付）

※製本（原図の青焼き、見開きA1版（1部））

※CADデータ（※CD-R（2部）

・

）

※保金に関する資料（2部）

下記のものを監督職員に提出する。原価は撮影業者の保管とする。

分	類	規	格	撮	影	箇	所	数	部	数	写	真	の	サイズ (mm)
※	カラー写真			外部（	8	）	内部（	6	）	※2	・	※	ワビ版	○デズ版
・	パネル（木製枠）			外部（	）	内部（	）	※2	・	※	半切	・	全紙	
・	カースライド			外部（	）	内部（	）	※1	・			24×36以上		
※	電子データ			外部（	）	内部（	）	※2	・			※426万画素以上		
												※350dpi以上		

電子データは、ﾌｨﾙﾑｽｷﾔﾝのうｿRGB各8ﾋﾞｯﾄ（ﾌﾗﾐｰﾝ）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者

※

建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承認する撮影業者

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること

(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

(3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りはない。

なお、(社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記(1)～(6)に該当するものとする。

また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。

(1) 合板、木質系フローリング、構造用ﾊﾞﾙｷ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾞｰﾅｲﾙﾊﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ｺﾂｸ樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムルブテドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムルブテド及びスフロを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(3) 接着剤はﾌﾗｸﾏｰﾌﾞｰﾌﾙ及びﾌﾗｸﾏｰﾌﾞｰ2-ｽﾌﾙﾎﾞﾝを含有しない難燃性の可塑性を使用し、ホルムルブテド、ホルム、キリン、エチルベンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(4) 塗料はホルムルブテド、ホルム、キリン、エチルベンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムルブテドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、ホルムルブテドを放散させないものとは放散量が規制対象外のものや、ホルムルブテドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものやをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

規

制

対

象

外

①JIS及びJASのF☆☆☆規格品

②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品

③下記表示のあるJAS規格品

a. 非ホルムルブテド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムルブテド系接着剤及びホルムルブテドを放散させない材料使用

d. ホルムルブテドを放散させない塗料等使用

e. 非ホルムルブテド系接着剤及びホルムルブテドを放散させない塗料使用

f. 非ホルムルブテド系接着剤及びホルムルブテドを放散させない塗料等使用

第

三

種

①JIS及びJASのF☆☆☆規格品

②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

③旧JISのEo規格品

④旧JASのFco規格品

2

1

足場その他

内部足場

種別

※脚立、足場板等

・

(2.2.1)

外部足場

種別

※A種（手すり先行工法）

・B種

・C種

・D種

○高所作業車

(2.2.1) (表2.2.1)

防護シートによる養生

※行わない

・行う

材料、撤去材料等の運搬

・A種

※B種

・C種

・D種

○E種

(2.2.1) (表2.2.1)

既存部分の養生

※ビニルシート等

・

(2.3.1)

既存家具等の養生

※ビニルシート等

・

固定家具等の移動

※行わない

・行う（図示）

(2.3.2) (表2.3.1)

3

仮設間仕切

種	別	下	地	仕	上	材	(厚さ mm)	充	て	ん	材	塗	装		
・	A種			※軽量鉄骨	・	合板（※9.0	・						※無し		
・	B種			・	木下地	※せつこうボード（※9.5	・				厚さ mm		・	片面	
※	C種			単管下地		防炎シート									
				※木製扉		※合板張り程度								※無し	
				・	鋼製扉	※片面フラッシュ程度								・	有り

4

仮設工事

2

1

足場その他

内部足場

種別

※脚立、足場板等

・

(2.2.1)

外部足場

種別

※A種（手すり先行工法）

・B種

・C種

・D種

○高所作業車

(2.2.1) (表2.2.1)

防護シートによる養生

※行わない

・行う

材料、撤去材料等の運搬

・A種

※B種

・C種

・D種

○E種

(2.2.1) (表2.2.1)

既存部分の養生

※ビニルシート等

・

(2.3.1)

既存家具等の養生

※ビニルシート等

・

固定家具等の移動

※行わない

・行う（図示）

(2.3.2) (表2.3.1)

3

仮設間仕切

種	別	下	地	仕	上	材	(厚さ mm)	充	て	ん	材	塗	装		
・	A種			※軽量鉄骨	・	合板（※9.0	・						※無し		
・	B種			・	木下地	※せつこうボード（※9.5	・				厚さ mm		・	片面	
※	C種			単管下地		防炎シート									
				※木製扉		※合板張り程度								※無し	
				・	鋼製扉	※片面フラッシュ程度								・	有り

5

仮設間仕切

2

1

足場その他

内部足場

種別

※脚立、足場板等

・

(2.2.1)

外部足場

種別

※A種（手すり先行工法）

・B種

・C種

・D種

○高所作業車

(2.2.1) (表2.2.1)

防護シートによる養生

※行わない

・行う

材料、撤去材料等の運搬

・A種

※B種

・C種

・D種

○E種

(2.2.1) (表2.2.1)

既存部分の養生

※ビニルシート等

・

(2.3.1)

既存家具等の養生

※ビニルシート等

・

固定家具等の移動

※行わない

・行う（図示）

(2.3.2) (表2.3.1)

3

仮設間仕切

種	別	下	地	仕	上	材	(厚さ mm)	充	て	ん	材	塗	装		
・	A種			※軽量鉄骨	・	合板（※9.0	・						※無し		
・	B種			・	木下地	※せつこうボード（※9.5	・				厚さ mm		・	片面	
※	C種			単管下地		防炎シート									
				※木製扉		※合板張り程度								※無し	
				・	鋼製扉	※片面フラッシュ程度								・	有り

6

仮設間仕切

2

1

足場その他

内部足場

種別

※脚立、足場板等

・

(2.2.1)

外部足場

種別

※A種（手すり先行工法）

・B種

・C種

・D種

○高所作業車

(2.2.1) (表2.2.1)

防護シートによる養生

※行わない

・行う

材料、撤去材料等の運搬

・A種

※B種

・C種

・D種

○E種

(2.2.1) (表2.2.1)

既存部分の養生

※ビニルシート等

・

(2.3.1)

既存家具等の養生

※ビニルシート等

・

固定家具等の移動

※行わない

・行う（図示）

(2.3.2) (表2.3.1)

3

仮設間仕切

種	別	下	地	仕	上	材	(厚さ mm)	充	て	ん	材	塗	装		
・	A種			※軽量鉄骨	・	合板（※9.0	・						※無し		
・	B種			・	木下地	※せつこうボード（※9.5	・				厚さ mm		・	片面	
※	C種			単管下地		防炎シート									
				※木製扉		※合板張り程度								※無し	
				・	鋼製扉	※片面フラッシュ程度								・	有り

7

仮設間仕切

2

1

足場その他

内部足場

種別

※脚立、足場板等

・

(2.2.1)

外部足場

種別

※A種（手すり先行工法）

・B種

・C種

・D種

○高所作業車

(2.2.1) (表2.2.1)

防護シートによる養生

※行わない

・行う

材料、撤去材料等の運搬

・A種

※B種

・C種

・D種

○E種

(2.2.1) (表2.2.1)

既存部分の養生

※ビニルシート等

・

(2.3.1)

既存家具等の養生

※ビニルシート等

・

固定家具等の移動

※行わない

・行う（図示）

(2.3.2) (表2.3.1)

3

仮設間仕切

種	別	下	地	仕	上	材	(厚さ mm)	充	て	ん	材	塗	装		
・	A種			※軽量鉄骨	・	合板（※9.0	・						※無し		
・	B種			・	木下地	※せつこうボード（※9.5	・				厚さ mm		・	片面	
※	C種			単管下地		防炎シート									
				※木製扉		※合板張り程度								※無し	
				・	鋼製扉	※片面フラッシュ程度								・	有り

8

仮設間仕切

2

1

足場その他

内部足場

種別

※脚立、足場板等

・

(2.2.1)

外部足場

種別

※A種（手すり先行工法）

・B種

・C種

・D種

○高所作業車

(2.2.1) (表2.2.1)

防護シートによる養生

※行わない

・行う

材料、撤去材料等の運搬

・A種

※B種

・C種

・D種

○E種

(2.2.1) (表2.2.1)

既存部分の養生

※ビニルシート等

・

(2.3.1)

既存家具等の養生

※ビニルシート等

・

固定家具等の移動

※行わない

・行う（図示）

(2.3.2) (表2.3.1)

3

仮設間仕切

種	別	下	地	仕	上	材	(厚さ mm)	充	て	ん	材	塗	装		
・	A種			※軽量鉄骨	・	合板（※9.0	・						※無し		
・	B種			・	木下地	※せつこうボード（※9.5	・				厚さ mm		・	片面	
※	C種			単管下地		防炎シート									
				※木製扉		※合板張り程度								※無し	
				・	鋼製扉	※片面フラッシュ程度								・	有り

9

仮設間仕切

2

1

足場その他

内部足場

種別

※脚立、足場板等

・

(2.2.1)

外部足場

種別

※A種（手すり先行工法）

・B種

・C種

・D種

○高所作業車

(2.2.1) (表2.2.1)

防護シートによる養生

※行わない

・行う

材料、撤去材料等の運搬

・A種

※B種

・C種

・D種

○E種

(2.2.1) (表2.2.1)

既存部分の養生

※ビニルシート等

・

(2.3.1)

既存家具等の養生

※ビニルシート等

・

固定家具等の移動

※行わない

・行う（図示）

(2.3.2) (表2.3.1)

3

仮設間仕切

種	別	下	地	仕	上	材	(厚さ mm)	充	て	ん	材	塗	装		
・	A種			※軽量鉄骨	・	合板（※9.0	・						※無し		
・	B種			・	木下地	※せつこうボード（※9.5	・				厚さ mm		・	片面	
※	C種			単管下地		防炎シート									
				※木製扉		※合板張り程度								※無し	
				・	鋼製扉	※片面フラッシュ程度								・	有り

10

仮設間仕切

2

1

足場その他

内部足場

種別

※脚立、足場板等

・

(2.2.1)

外部足場

種別

※A種（手すり先行工法）

・B種

・C種

・D種

○高所作業車

(2.2.1) (表2.2.1)

防護シートによる養生

※行わない

・行う

材料、撤去材料等の運搬

・A種

※B種

・C種

・D種

○E種

(2.2.1) (表2.2.1)

既存部分の養生

※ビニルシート等

・

(2.3.1)

既存家具等の養生

※ビニルシート等

・

固定家具等の移動

※行わない

・行う（図示）

(2.3.2) (表2.3.1)

3

仮設間仕切

種	別	下	地	仕	上	材	(厚さ mm)	充	て	ん	材	塗	装		
・	A種			※軽量鉄骨	・	合板（※9.0	・						※無し		
・	B種			・	木下地	※せつこうボード（※9.5	・				厚さ mm		・	片面	
※	C種			単管下地		防炎シート									
				※木製扉		※合板張り程度								※無し	
				・	鋼製扉	※片面フラッシュ程度								・	有り

11

仮設間仕切

2

1

足場その他

内部足場

種別

※脚立、足場板等

・

(2.2.1)

外部足場

種別

※A種（手すり先行工法）

・B種

・C種

・D種

○高所作業車

(2.2.1) (表2.2.1)

防護シートによる養生

※行わない

・行う

材料、撤去材料等の運搬

・A種

※B種

・C種

・D種

○E種

(2.2.1) (表2.2.1)

既存部分の養生

※ビニルシート等

・

(2.3.1)

既存家具等の養生

※ビニルシート等

・

固定家具等の移動

※行わない

・行う（図示）

(2.3.2) (表2.3.1)

3

仮設間仕切

種	別	下	地	仕	上	材	(厚さ mm)	充	て	ん	材	塗	装		
・	A種			※軽量鉄骨	・	合板（※9.0	・						※無し		
・	B種			・	木下地	※せつこうボード（※9.5	・				厚さ mm		・	片面	
※	C種			単管下地		防炎シート									
				※木製扉		※合板張り程度								※無し	
				・	鋼製扉	※片面フラッシュ程度								・	有り

12

仮設間仕切

2

1

足場その他

内部足場

種別

※脚立、足場板等

・

(2.2.1)

外部足場

種別

※A種（手すり先行工法）

・B種

・C種

・D種

○高所作業車

(2.2.1) (表2.2.1)

防護シートによる養生

※行わない

・行う

材料、撤去材料等の運搬

・A種

※B種

・C種

・D種

○E種

(2.2.1) (表2.2.1)

既存部分の養生

※ビニルシート等

・

(2.3.1)

既存家具等の養生

※ビニルシート等

・

固定家具等の移動

※行わない

・行う（図示）

(2.3.2) (表2.3.1)

3

仮設間仕切

種	別	下	地	仕	上	材	(厚さ mm)	充	て	ん	材	塗	装	
・	A種			※軽量鉄骨	・	合板（※9.0	・						※無し	
・	B種			・	木下地	※せつこうボード（※9.5	・				厚さ mm		・	片面
※	C種			単管下地		防炎シート								
				※木製扉										

4-1

外壁改修工事
共通事項

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
(4.2.2)

合成ゴム系、アクリル系、エチレンー酢ビ系等

曲げ強さ (N/mm2)	圧縮強さ (N/mm2)	接着強さ (N/mm2)		
		標準時	湿潤時	低温時
6.0以上	20.0以上	1.8以上	0.8以上	0.5以上

表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー
(4.2.2)

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3%以下	0.5N/mm2以上	5.0N/mm2以上	15%以下	5.0N/mm2以上

保水係数 0.35～0.55
粘結係数 0.50～1.00

・吸水調整材
(4.2.2)

項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強さ (N/mm2)	界面破壊率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-2

外壁改修工事
コンクリート打放し仕上げ外壁

1.ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法
(4.1.4) (4.3.4～4.3.6)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※50～100 ※100～200 ※150～250	※40 ※70 ※130	・

注入材料
(4.2.2)
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

検査 (コア採取) ※行わない
・行う (採取り部の補修方法：)
(4.3.4)

・ウカットシール材充てん工法
(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)

充てん材料	品質・規格等	備 考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	・	

・シール工法
(4.1.4) (4.2.2) (4.3.6)

シール材料	品質・規格等
・パテ状エポキシ樹脂	
・可とう性エポキシ樹脂	

2.欠損部改修工法

※充てん工法
(4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)

シール材料	品質・規格等
・エポキシ樹脂モルタル	
・ポリマーセメントモルタル	

1.既存モルタル塗りの撤去

2.ひび割れ部改修工法

外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ外壁

・行う (※全面 ・図示の範囲)

・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)
(4.1.4) (4.4.2) (4.4.5)

※樹脂注入工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面)
(4.1.4) (4.4.2) (4.4.5)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※50～100 ※100～200 ※150～250	※40 ※70 ※130	・

注入材料
(4.2.2)
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

検査 (コア採取) ※行わない
・行う (採取り部の補修方法：)
(4.3.4)

・ウカットシール材充てん工法
(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)

充てん材料	品質・規格等	備 考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	・	

・シール工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面)
(4.1.4) (4.2.2) (4.4.7)

シール材料	品質・規格等
・パテ状エポキシ樹脂	
・可とう性エポキシ樹脂	

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 (※シール工法の範囲)
(4.4.2) (4.6.3)

3.欠損部改修工法

既存モルタル面の欠損部
(4.1.4) (4.4.8) (4.4.9)

改修工法の種類	材 料	品質・規格等
・充てん工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修仕様4.2.2(g)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

既装目地材 ・適用する (形状 ※図示)
(4.2.2)

4.浮き部改修工法

外壁改修工事
タイル張り仕上げ外壁

1.既存タイル張りの撤去

2.ひび割れ部改修工法

外壁改修工事
タイル張り仕上げ外壁

・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲
撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ

改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)
(4.1.4) (4.3.4) (4.4.5)

※樹脂注入工法
(4.1.4) (4.2.2) (4.3.6)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満 0.5以上～1.0未満	※50～100 ※100～200 ※150～250	※40 ※70 ※130	・

注入材料
(4.2.2)
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)

検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取り部の補修方法：)
(4.3.4)

・ウカットシール材充てん工法 (既存タイル張り撤去面)
(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5) (4.3.6)

充てん材料	品質・規格等	備 考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	・	

・タイル部分強替え工法
(4.1.4) (4.2.2) (4.5.7)

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	・変成シリコン樹脂 ・エポキシ樹脂 ・ポリウレタン樹脂 ・シリコン樹脂 ・タイル部分強替え工法用接着剤

・タイル張替え工法
(4.1.4) (4.5.8)
伸縮目地調整及びひび割れ誘発目地
(4.5.8) (4.5.1)
位置 ※改修仕様表4.5.1による ・図示

4.浮き部改修工法

(4.1.4) (4.5.10～4.5.15) (表4.4.3) (表4.4.4)

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	フタ・ピンの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		充てん量 注入量
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※1.6	※2.5			※2.5ml
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※1.3	※2.0	※1.2	※2.0	※2.5ml
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※1.3	※2.0	※1.2	※2.0	※5.0ml
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※1.6			※2.5ml
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※1.6	※9	※1.6	※2.5ml
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※1.6	※9	※1.6	※5.0ml
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※1.6	※9	※1.6	※5.0ml

アンカーピン
(4.2.2)
材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・

注入口付アンカーピン
(4.2.2)
材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm
・

5.陶磁器質タイル張り

タイルの種類
(4.2.2) (4.5.7) (4.5.8)

施工箇所	形状寸法 (mm)	き じ		釉 薬		役 物		色		備 考
		磁器	せつ器	陶器	無釉	施釉	有	無	標準	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり (小口、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする。
タイルの見本抜き ※行わない ・行う
(4.5.7) (4.5.8) (表4.5.3)

壁タイル張りの工法
(4.5.7) (4.5.8) (表4.5.3)

外装タイル ・密着張り ・マスク張り
タイルの試験張り ※行わない ・行う

6.目地改修工法

(4.1.4) (4.5.16)
(3.7.2) (表3.7.1)

・伸縮目地改修工法
シーリング用材料 種類 ※改修仕様表3.7.1による

1.既存塗膜等の除去
及び下地処理

2.下地調整材

3.仕上り塗材仕上り

5
建具改修工事

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法
(4.6.3) (表4.6.1～表4.6.4)

工 法	処 理 範 囲	下 地 面 の 補 修
※サンダー工法 ・高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa 程度以上	※既存仕上面全体 ※既存仕上面全体	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・塗膜はく離削工法 ・水洗い工法	※既存仕上面全体 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

※下地調整塗材
(4.2.2) (4.6.3)
・ポリマーセメントモルタル
・防水材仕上り塗材主材を使用

種類、仕上りの形状、工法
(4.1.4) (4.2.2) (表4.2.3) (表4.2.4)

種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i ・可とう形外装薄塗材 S i ・外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E ・防水形外装薄塗材 E ・外装薄塗材 S	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 ・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材 C E ・可とう形複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 R E ・防水形複層塗材 R S	・ゆず肌状 ・凸凹模様 ・凹凸模様 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水材の増塗材 ※行う
・可とう系改修用 仕上塗材	・可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 R E ・可とう形改修塗材 C E	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合
(4.2.2) (15.5.2)
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。

1.改修工法の適用

2.見本の製作等

3.防犯建物部品

4.アルミニウム製建具

5
網戸

6.鋼製建具

7.鋼製軽量建具

8.ステンレス製建具

9.自動ドア開閉装置

10.自閉式上吊り引き戸設置

11.木製建具

(5.1.3)

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適 用 箇 所
・アルミニウム製建具	・	・	※建具表による ・図示
・鋼製建具	・外部	・	※建具表による ・図示
・内部	・	・	※建具表による ・図示 工事内容
・鋼製軽量建具	・	・	※建具表による ・図示
・ステンレス製建具	・	・	※建具表による ・図示

・特殊な建具の仮組 (建具番号：)
(5.1.5)

・適用する ()
(5.1.7)

外壁に面する建具
(5.2.2) (表5.2.1)

種 別	断風圧性	気 密 性	水 密 性	透見込み (mm)	施 工 箇 所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※7.0	※図示
・B種	S-5	・	・		
・C種	S-6	A-4	W-5	1.0.0	

防音ドアセット ・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 ()
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級 ()
断熱ドアセット ・断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 ()
表面処理 ※B-1 ・B-2 (※ﾌﾗｯｸ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾌﾟﾗｲﾝｸﾞ)

屋内建具
(5.2.4) (表5.2.2)

表面処理	※C-1 又は B-1 ・C-2 又は B-2 (※ﾌﾗｯｸ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾌﾟﾗｲﾝｸﾞ)
------	--

防虫網
(5.2.3)

網の種類	○合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316) 形 式 ※外部可動式 ・固定式
------	--

簡易気密型ドアセットの適用は特記による
(5.3.2) (表5.3.1)
断風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸 ・適用する
(5.3.4)

簡易気密型ドアセットの適用は特記による
(5.4.2)

簡易気密型ドアセットの適用は特記による
断風圧性の適用は建具表による
(5.5.4)
表面仕上げ ※H.L.仕上げ ・鏡面仕上げ
曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (補強有り)
(5.5.5)
特定防火設備の戸 ・適用する
(表5.1)

※製造所標準製作規定寸法許容差による
(5.7.2) (5.7.3) (表5.7.1～表5.7.3)

開閉方法	センサの種類	
	※スライディングドア ・スイングドア 性能 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSL0-1 ・DSL0-2 ・SMD-1 ・SMD-2	・マツトスイッチ ・電子マツトスイッチ ※光線スイッチ ・音波スイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッチ ・多機能便所スイッチ ・

・凍結防止措置 (適用箇所は建具表による)

品質規格 ※改修仕様5.8.3による ・製造所標準仕様による
(5.8.3) (表5.8.1)

かまじ戸の仕様 かまじ () 鏡板 ()
(16.6.2)
ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度 (押入等の裏面は除く)
(表16.6.3)

・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤の※A7ﾌﾟﾛﾄﾞ 放散量の等級
(16.6.2)
※規制対象外 ・第三種

12.建具用金物

13.ガラス

14.ガラス留め材及び溝

15.ガラス用フィルム

16.重量シャッター

17.軽量シャッター

18.オーバーヘッドドア

19.かざ箱

6
内装改修工事

マスターキー ※製作する ・製作しない
(5.6.4)
建具金物の種類
(5.6.2) (5.6.3) (表5.6.1) (表5.6.2)
錠前類は、シリンダー錠錠 (レバーハンドル) とする。
なお、錠前類は建具製作所の指定のものとし、監督職員の承諾を受ける。
吊金物
・丁番 (内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ
○サムターン (表示錠) 1F女子便所 入扉用 WD-1

 ※建具表による (5.12.2) ・ガラスブロック積み (※図示) ガラスブロック 品質JIS A5212によるもの (5.12.5) |

寸 法 (mm)	色 調		パターン	防火認定 ※無し ・有り
	※クリア ・乳白	・熱線反射 ・カラー ()		

ガラス留め材
(5.12.2) (表5.12.1)

建 具 の 種 類	材 質
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket (F 1 X部はシーリング材)
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
(5.12.3)
板ガラスをはめ込む溝の大きさ
改修仕様5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(社)日本建築学会JASS17ガラス工事
「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

名 称	種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D 1

品質JIS A5759による
(5.9.2) (表5.9.1)

シャッターの種類	耐風圧性能 () N/m2
・一般重量シャッター	() N/m2
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能 () N/m2
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

閉形式 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式
先着防止機構 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・シャッターの二段降下方式
(5.9.2)
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用)
(5.10.2) (表5.10.1)
スラット 材質 ※塗装溶融面鉤めつき鋼板及び鋼帯
(5.10.3)
形状 ※インターロックング形 ・オーバーラッピング形
(5.10.4)
ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm)
(表5.10.2)
耐風圧性能 () N/m

(5.11.2～5.11.4) (表5.11.1) (表5.11.2)

セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融面鉤めつき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板 (SUS304)
・ファイバークラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	・パーチカル形

耐風圧性能 () N/m

市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用

 1.改修範囲 |

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
(6.1.3)
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
(6.1.3)
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
(6.1.3)
※既存のまま ・図示の範囲

2.既存床の撤去並びに
下地補修

ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
(6.2.2)
・下地モルタルとも (※図示の範囲 ・除去範囲全て)
合成樹脂張り床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒工法
(6.2.2)
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・

3.既存壁の撤去並びに
下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修
(6.3.2) (4.4.9)
※図示 ・モルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない)

4.木下地等

木材の品質 ※改修仕様6.5.2による ・市販品
(6.5.2) (表6.5.2) (表6.5.3)
樹種 ※改修仕様表6.5.4による
(6.5.2) (表6.5.4)
・代用樹種を適用しない箇所 ()
保存処理木材を使用する箇所 ()

5.集材等

(6.5.2)

品 名	規格・品質	芯 材 の 樹 種	化粧板の樹種
※集成材	※一般材	・たも ・なら ・しおじ	
・構造用集成材	※1級 ・2級 ・		
・造作用集成材	※1級 ・2級 ・		
・化粧び造作用集成材	※1級 ・2級 ・		

ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
(6.5.2)
※木工事に使用する接着剤
①7樹脂、②シン樹脂、③ノル樹脂、④7樹脂又は⑧A7ﾌﾟﾛﾄﾞ 系防腐剤 (以下「①7樹脂等」という。
)を用いた接着剤の⑧A7ﾌﾟﾛﾄﾞ 放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種

※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅巾に使用する接着剤
(6.8.2) (6.14.2)
壁紙施工用でん粉系接着剤、①7樹脂等を用いた接着剤の⑧A7ﾌﾟﾛﾄﾞ 放散量の等級
※規制対象外 ・第三種

 換 印 欄 |

図面名称

工事名

令和5年度 新田書庫改修工事

図面番号

A-02

1. 鉄筋の種類

2. 溶接金網

3. 鉄筋の継手

4. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

5. 各部の配筋

6. ガス圧接

7. コンクリートの種別及び強度

8. コンクリートの品質

9. 普通コンクリート

10. 無筋コンクリート

11. 高い強度のコンクリート

12. 鉄骨製作工場

13. 入熱、バスの温度の溶接条件

14. 施工管理技術者

15. 鋼材

16. スカラップ

17. 高力ボルト

18. 鉄骨工作仮組

19. 溶接部の試験

20. 錆止め塗装

21. 耐火被覆材

22. 既存コンクリート面の目視し

23. セメント及びグラウト材

24. セメント及びグラウト材

25. あと施工アンカーの材料

26. あと施工アンカーの穿孔

27. あと施工アンカーの施工確認試験

28. 断熱材兼用型枠

29. 断熱材兼用型枠

30. 断熱材兼用型枠

31. 断熱材兼用型枠

32. 断熱材兼用型枠

33. 断熱材兼用型枠

34. 断熱材兼用型枠

35. 断熱材兼用型枠

36. 断熱材兼用型枠

37. 断熱材兼用型枠

38. 断熱材兼用型枠

39. 断熱材兼用型枠

40. 断熱材兼用型枠

41. 断熱材兼用型枠

42. 断熱材兼用型枠

43. 断熱材兼用型枠

44. 断熱材兼用型枠

45. 断熱材兼用型枠

46. 断熱材兼用型枠

47. 断熱材兼用型枠

48. 断熱材兼用型枠

49. 断熱材兼用型枠

50. 断熱材兼用型枠

51. 断熱材兼用型枠

52. 断熱材兼用型枠

53. 断熱材兼用型枠

54. 断熱材兼用型枠

55. 断熱材兼用型枠

56. 断熱材兼用型枠

57. 断熱材兼用型枠

58. 断熱材兼用型枠

59. 断熱材兼用型枠

60. 断熱材兼用型枠

61. 断熱材兼用型枠

62. 断熱材兼用型枠

63. 断熱材兼用型枠

64. 断熱材兼用型枠

65. 断熱材兼用型枠

66. 断熱材兼用型枠

67. 断熱材兼用型枠

68. 断熱材兼用型枠

69. 断熱材兼用型枠

70. 断熱材兼用型枠

71. 断熱材兼用型枠

72. 断熱材兼用型枠

73. 断熱材兼用型枠

74. 断熱材兼用型枠

75. 断熱材兼用型枠

76. 断熱材兼用型枠

77. 断熱材兼用型枠

78. 断熱材兼用型枠

79. 断熱材兼用型枠

80. 断熱材兼用型枠

81. 断熱材兼用型枠

82. 断熱材兼用型枠

83. 断熱材兼用型枠

84. 断熱材兼用型枠

85. 断熱材兼用型枠

86. 断熱材兼用型枠

87. 断熱材兼用型枠

88. 断熱材兼用型枠

89. 断熱材兼用型枠

90. 断熱材兼用型枠

91. 断熱材兼用型枠

92. 断熱材兼用型枠

93. 断熱材兼用型枠

94. 断熱材兼用型枠

95. 断熱材兼用型枠

96. 断熱材兼用型枠

97. 断熱材兼用型枠

98. 断熱材兼用型枠

99. 断熱材兼用型枠

100. 断熱材兼用型枠

4. 連続繊維シート巻き

5. スリットの施工

6. アスベスト含有分析調査

7. アスベスト粉じん濃度測定

8. アスベスト含有吹付け材の除去（レベル1）

9. アスベスト含有吹付け材の除去（レベル2）

10. アスベスト含有吹付け材の除去（レベル3）

11. 外断熱改修工事

12. ガラス改修工事

13. 屋上緑化改修工事

14. 透水性アスファルト舗装改修工事

15. 透水性アスファルト舗装工事

16. 透水性アスファルト舗装工事

17. 透水性アスファルト舗装工事

18. 透水性アスファルト舗装工事

19. 透水性アスファルト舗装工事

20. 透水性アスファルト舗装工事

21. 透水性アスファルト舗装工事

22. 透水性アスファルト舗装工事

23. 透水性アスファルト舗装工事

24. 透水性アスファルト舗装工事

25. 透水性アスファルト舗装工事

26. 透水性アスファルト舗装工事

27. 透水性アスファルト舗装工事

28. 透水性アスファルト舗装工事

29. 透水性アスファルト舗装工事

30. 透水性アスファルト舗装工事

31. 透水性アスファルト舗装工事

32. 透水性アスファルト舗装工事

33. 透水性アスファルト舗装工事

34. 透水性アスファルト舗装工事

35. 透水性アスファルト舗装工事

36. 透水性アスファルト舗装工事

37. 透水性アスファルト舗装工事

38. 透水性アスファルト舗装工事

39. 透水性アスファルト舗装工事

40. 透水性アスファルト舗装工事

41. 透水性アスファルト舗装工事

42. 透水性アスファルト舗装工事

43. 透水性アスファルト舗装工事

44. 透水性アスファルト舗装工事

45. 透水性アスファルト舗装工事

46. 透水性アスファルト舗装工事

47. 透水性アスファルト舗装工事

48. 透水性アスファルト舗装工事

49. 透水性アスファルト舗装工事

50. 透水性アスファルト舗装工事

51. 透水性アスファルト舗装工事

52. 透水性アスファルト舗装工事

53. 透水性アスファルト舗装工事

54. 透水性アスファルト舗装工事

55. 透水性アスファルト舗装工事

56. 透水性アスファルト舗装工事

57. 透水性アスファルト舗装工事

58. 透水性アスファルト舗装工事

59. 透水性アスファルト舗装工事

60. 透水性アスファルト舗装工事

61. 透水性アスファルト舗装工事

62. 透水性アスファルト舗装工事

63. 透水性アスファルト舗装工事

64. 透水性アスファルト舗装工事

65. 透水性アスファルト舗装工事

66. 透水性アスファルト舗装工事

67. 透水性アスファルト舗装工事

68. 透水性アスファルト舗装工事

69. 透水性アスファルト舗装工事

70. 透水性アスファルト舗装工事

71. 透水性アスファルト舗装工事

72. 透水性アスファルト舗装工事

73. 透水性アスファルト舗装工事

74. 透水性アスファルト舗装工事

75. 透水性アスファルト舗装工事

76. 透水性アスファルト舗装工事

77. 透水性アスファルト舗装工事

78. 透水性アスファルト舗装工事

79. 透水性アスファルト舗装工事

80. 透水性アスファルト舗装工事

81. 透水性アスファルト舗装工事

82. 透水性アスファルト舗装工事

83. 透水性アスファルト舗装工事

84. 透水性アスファルト舗装工事

85. 透水性アスファルト舗装工事

86. 透水性アスファルト舗装工事

87. 透水性アスファルト舗装工事

88. 透水性アスファルト舗装工事

89. 透水性アスファルト舗装工事

90. 透水性アスファルト舗装工事

91. 透水性アスファルト舗装工事

92. 透水性アスファルト舗装工事

93. 透水性アスファルト舗装工事

94. 透水性アスファルト舗装工事

95. 透水性アスファルト舗装工事

96. 透水性アスファルト舗装工事

97. 透水性アスファルト舗装工事

98. 透水性アスファルト舗装工事

99. 透水性アスファルト舗装工事

100. 透水性アスファルト舗装工事

1. 工事現場の環境改善について

2. 産業廃棄物の取扱いについて

3. 再生資源利用促進計画書等について

4. ISO 14001関係

5. 過積載の禁止

6. 取除等

7. その他

8. その他

9. その他

10. その他

11. その他

12. その他

13. その他

14. その他

15. その他

16. その他

17. その他

18. その他

19. その他

20. その他

21. その他

22. その他

23. その他

24. その他

25. その他

26. その他

27. その他

28. その他

29. その他

30. その他

31. その他

32. その他

33. その他

34. その他

35. その他

36. その他

37. その他

38. その他

39. その他

40. その他

41. その他

42. その他

43. その他

44. その他

45. その他

46. その他

47. その他

48. その他

49. その他

50. その他

51. その他

52. その他

53. その他

54. その他

55. その他

56. その他

57. その他

58. その他

59. その他

60. その他

61. その他

62. その他

63. その他

64. その他

65. その他

66. その他

67. その他

68. その他

69. その他

70. その他

71. その他

72. その他

73. その他

74. その他

75. その他

76. その他

77. その他

78. その他

79. その他

80. その他

81. その他

82. その他

83. その他

84. その他

85. その他

86. その他

87. その他

88. その他

89. その他

90. その他

91. その他

92. その他

93. その他

94. その他

95. その他

96. その他

97. その他

98. その他

99. その他

100. その他

1. 工事現場の環境改善について

2. 産業廃棄物の取扱いについて

3. 再生資源利用促進計画書等について

4. ISO 14001関係

5. 過積載の禁止

6. 取除等

7. その他

8. その他

9. その他

10. その他

11. その他

12. その他

13. その他

14. その他

15. その他

16. その他

17. その他

18. その他

19. その他

20. その他

21. その他

22. その他

23. その他

24. その他

25. その他

26. その他

27. その他

28. その他

29. その他

30. その他

31. その他

32. その他

33. その他

34. その他

35. その他

36. その他

37. その他

38. その他

39. その他

40. その他

41. その他

42. その他

43. その他

44. その他

45. その他

46. その他

47. その他

48. その他

49. その他

50. その他

51. その他

52. その他

53. その他

54. その他

55. その他

56. その他

57. その他

58. その他

59. その他

60. その他

61. その他

62. その他

63. その他

64. その他

65. その他

66. その他

67. その他

68. その他

69. その他

70. その他

71. その他

72. その他

73. その他

74. その他

75. その他

76. その他

77. その他

78. その他

79. その他

80. その他

81. その他

82. その他

83. その他

84. その他

85. その他

86. その他

87. その他

88. その他

89. その他

90. その他

91. その他

92. その他

93. その他

94. その他

95. その他

96. その他

97. その他

98. その他

99. その他

100. その他

1. 工事現場の環境改善について

2. 産業廃棄物の取扱いについて

3. 再生資源利用促進計画書等について

4. ISO 14001関係

5. 過積載の禁止

6. 取除等

7. その他

8. その他

9. その他

10. その他

11. その他

12. その他

13. その他

14. その他

15. その他

16. その他

17. その他

18. その他

19. その他

20. その他

21. その他

22. その他

23. その他

24. その他

25. その他

26. その他

27. その他

28. その他

29. その他

30. その他

31. その他

32. その他

33. その他

34. その他

35. その他

36. その他

37. その他

38. その他

39. その他

40. その他

41. その他

42. その他

43. その他

44. その他

45. その他

46. その他

47. その他

48. その他

49. その他

50. その他

51. その他

52. その他

53. その他

54. その他

55. その他

56. その他

57. その他

58. その他

59. その他

60. その他

61. その他

62. その他

63. その他

64. その他

65. その他

66. その他

67. その他

68. その他

69. その他

70. その他

71. その他

72. その他

73. その他

74. その他

75. その他

76. その他

77. その他

78. その他

79. その他

80. その他

81. その他

82. その他

83. その他

84. その他

85. その他

86. その他

87. その他

88. その他

89. その他

90. その他

91. その他

92. その他

93. その他

94. その他

95. その他

96. その他

97. その他

98. その他

99. その他

100. その他

1. 工事現場の環境改善について

2. 産業廃棄物の取扱いについて

3. 再生資源利用促進計画書等について

4. ISO 14001関係

5. 過積載の禁止

6. 取除等

7. その他

8. その他

9. その他

10. その他

11. その他

12. その他

13. その他

14. その他

15. その他

16. その他

17. その他

18. その他

19. その他

20. その他

21. その他

22. その他

23. その他

24. その他

25. その他

26. その他

27. その他

28. その他

29. その他

30. その他

31. その他

32. その他

33. その他

34. その他

35. その他

36. その他

37. その他

38. その他

39. その他

40. その他

41. その他

42. その他

43. その他

44. その他

45. その他

46. その他

47. その他

48. その他

49. その他

50. その他

51. その他

52. その他

53. その他

54. その他

55. その他

56. その他

57. その他

58. その他

59. その他

60. その他

61. その他

62. その他

63. その他

64. その他

65. その他

66. その他

67. その他

68. その他

69. その他

70. その他

71. その他

72. その他

73. その他

74. その他

75. その他

76. その他

77. その他

78. その他

79. その他

80. その他

81. その他

82. その他

83. その他

84. その他

85. その他

86. その他

87. その他

88. その他

89. その他

90. その他

91. その他

92. その他

93. その他

94. その他

95. その他

96. その他

97. その他

98. その他

99. その他

100. その他

1. 工事現場の環境改善について

2. 産業廃棄物の取扱いについて

3. 再生資源利用促進計画書等について

4. ISO 14001関係

5. 過積載の禁止

6. 取除等

7. その他

8. その他

9. その他

10. その他

11. その他

12. その他

13. その他

14. その他

15. その他

16. その他

17. その他

18. その他

19. その他

20. その他

21. その他

22. その他

23. その他

24. その他

25. その他

26. その他

27. その他

28. その他

29. その他

30. その他

31. その他

32. その他

33. その他

34. その他

35. その他

36. その他

37. その他

38. その他

39. その他

40. その他

41. その他

42. その他

43. その他

44. その他

45. その他

46. その他

47. その他

48. その他

49. その他

50. その他

51. その他

52. その他

53. その他

54. その他

55. その他

56. その他

57. その他

58. その他

59. その他

60. その他

61. その他

62. その他

63. その他

64. その他

65. その他

66. その他

67. その他

68. その他

69. その他

70. その他

71. その他

72. その他

73. その他

74. その他

75. その他

76. その他

77. その他

78. その他

79. その他

80. その他

81. その他

82. その他

83. その他

84. その他

85. その他

86. その他

87. その他

88. その他

89. その他

90. その他

91. その他

92. その他

93. その他

94. その他

95. その他

96. その他

97. その他

98. その他

99. その他

100. その他

1. 工事現場の環境改善について

2. 産業廃棄物の取扱いについて

3. 再生資源利用促進計画書等について

4. ISO 14001関係

5. 過積載の禁止

6. 取除等

7. その他

8. その他

9. その他

10. その他

11. その他

12. その他

13. その他

14. その他

15. その他

16. その他

17. その他

18. その他

19. その他

20. その他

21. その他

22. その他

23. その他

24. その他

25. その他

26. その他

27. その他

28. その他

29. その他

30. その他

31. その他

32. その他

33. その他

34. その他

35. その他

36. その他

37. その他

38. その他

39. その他

40. その他

41. その他

42. その他

43. その他

44. その他

45. その他

46. その他

47. その他

48. その他

49. その他

50. その他

51. その他

52. その他

53. その他

54. その他

55. その他

56. その他

57. その他

58. その他

59. その他

60. その他

61. その他

62. その他

63. その他

64. その他

65. その他

66. その他

67. その他

68. その他

69. その他

70. その他

71. その他

72. その他

73. その他

74. その他

75. その他

76. その他

77. その他

78. その他

79. その他

80. その他

81. その他

82. その他

83. その他

84. その他

85. その他

86. その他

87. その他

88. その他

89. その他

90. その他

91. その他

92. その他

93. その他

94. その他

95. その他

96. その他

97. その他

98. その他

99. その他

100. その他

1. 工事現場の環境改善について

2. 産業廃棄物の取扱いについて

3. 再生資源利用促進計画書等について

4. ISO 14001関係

5. 過積載の禁止

6. 取除等

7. その他

8. その他

9. その他

10. その他

11. その他

12. その他

13. その他

14. その他

15. その他

16. その他

17. その他

18. その他

19. その他

20. その他

21. その他

22. その他

23. その他

24. その他

25. その他

26. その他

27. その他

28. その他

29. その他

30. その他

31. その他

32. その他

33. その他

34. その他

35. その他

36. その他

37. その他

38. その他

39. その他

40. その他

41. その他

42. その他

43. その他

44. その他

45. その他

46. その他

47. その他

48. その他

49. その他

50. その他

51. その他

52. その他

53. その他

54. その他

55. その他

56. その他

57. その他

58. その他

59. その他

60. その他

61. その他

62. その他

63. その他

64. その他

65. その他

66. その他

67. その他

68. その他

69. その他

70. その他

71. その他

72. その他

73. その他

74. その他

75. その他

76. その他

77. その他

78. その他

79. その他

80. その他

81. その他

82. その他

83. その他

84. その他

85. その他

86. その他

87. その他

88. その他

89. その他

90. その他

91. その他

92. その他

93. その他

94. その他

95. その他

96. その他

97. その他

98. その他

99. その他

100. その他

1. 工事現場の環境改善について

2. 産業廃棄物の取扱いについて

3. 再生資源利用促進計画書等について

4. ISO 14001関係

5. 過積載の禁止

6. 取除等

7. その他

8. その他

9. その他

10. その他

11. その他

12. その他

13. その他

14. その他

15. その他

16. その他

17. その他

18. その他

19. その他

20. その他

21. その他

22. その他

23. その他

24. その他

25. その他

26. その他

27. その他

28. その他

29. その他

30. その他

31. その他

32. その他

33. その他

34. その他

35. その他

36. その他

37. その他

38. その他

39. その他

40. その他

41. その他

42. その他

43. その他

44. その他

45. その他

46. その他

47. その他

48. その他

49. その他

50. その他

51. その他

52. その他

53. その他

54. その他

55. その他

56. その他

57. その他

58. その他

59. その他

60. その他

61. その他

62. その他

63. その他

64. その他

65. その他

66. その他

67. その他

68. その他

69. その他

70. その他

71. その他

72. その他

73. その他

74. その他

75. その他

76. その他

77. その他

78. その他

79. その他

80. その他

81. その他

82. その他

83. その他

84. その他

85. その他

86. その他

87. その他

88. その他

89. その他

90. その他

91. その他

92. その他

93. その他

94. その他

95. その他

96. その他

97. その他

98. その他

99. その他

100. その他

1. 工事現場の環境改善について

2. 産業廃棄物の取扱いについて

3. 再生資源利用促進計画書等について

4. ISO 14001関係

5. 過積載の禁止

6. 取除等

7. その他

8. その他

9. その他

10. その他

11. その他

12. その他

13. その他

14. その他

15. その他

16. その他

17. その他

18. その他

19. その他

20. その他

21. その他

22. その他

23. その他

24. その他

25. その他

26. その他

27. その他

28. その他

29. その他

30. その他

31. その他

32. その他

33. その他

34. その他

35. その他

36. その他

37. その他

38. その他

39. その他

40. その他

41. その他

42. その他

43. その他

44. その他

45. その他

46. その他

47. その他

48. その他

49. その他

50. その他

51. その他

52. その他

53. その他

54. その他

55. その他

56. その他

57. その他

58. その他

59. その他

60. その他

61. その他

62. その他

63. その他

64. その他

65. その他

66. その他

67. その他

68. その他

69. その他

70. その他

71. その他

72. その他

73. その他

74. その他

75. その他

76. その他

77. その他

78. その他

79. その他

80. その他

81. その他

82. その他

83. その他

84. その他

85. その他

86. その他

87. その他

88. その他

89. その他

90. その他

91. その他

92. その他

93. その他

94. その他

95. その他

96. その他

97. その他

98. その他

99. その他

100. その他

1. 工事現場の環境改善について

2. 産業廃棄物の取扱いについて

3. 再生資源利用促進計画書等について

4. ISO 14001関係

5. 過積載の禁止

6. 取除等

7. その他

8. その他

9. その他

10. その他

11. その他

12. その他

13. その他

14. その他

15. その他

16. その他

17. その他

18. その他

19. その他

20. その他

21. その他

22. その他

23. その他

24. その他

25. その他

26. その他

27. その他

28. その他

29. その他

30. その他

31. その他

32. その他

33. その他

34. その他

35. その他

36. その他

37. その他

38. その他

39. その他

40. その他

41. その他

42. その他

43. その他

44. その他

45. その他

46. その他

47. その他

48. その他

49. その他

50. その他

51. その他

52. その他

53. その他

54. その他

55. その他

56. その他

57. その他

58. その他

59. その他

60. その他

61. その他

62. その他

63. その他

64. その他

65. その他

66. その他

67. その他

68. その他

69. その他

70. その他

71. その他

72. その他

73. その他

74. その他

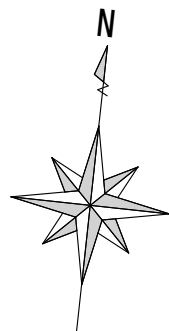
案内図



工事場所:安曇野市豊科 5712-1

工事内容

- A 仮設工事
- ・ 内部脚立足場 1F男子、女子、多目的便所内 2F事務室
 - ・ 高所作業車 2F東側窓 AW-1 網戸取付 3ヶ所 AW-1' 換気扇フード 取付時 2F南側窓 AW-2 既存文字シール撤去及びクリーニング 時間:延べ1日想定
 - ・ 養生 1F男子、女子、多目的便所内
 - ・ 清掃クリーニング 1F ホール・階段・便所前廊下 2F 事務室・湯沸室
- B 建築工事
- 1) 解体撤去工事
- ・ 1F男子便所 小便器・手洗い部・掃除用具入部 ライニング撤去処分
トイレース撤去処分
床アルミ点検口撤去処分 600角 磁器モザイクタイル貼り
 - ・ 1F女子便所 手洗い部ライニング撤去処分 共にCB下地磁器100角タイル貼り仕上
トイレース撤去処分
 - ・ 多目的便所 床 塩ビシート貼り撤去処分 巾木 ソフト巾木撤去処分H75
- 2) 建築工事
- ・ 1F男・女子便所 和風大便器撤去後コンクリートで穴埋 鉄筋D10ﾀﾞﾔｺ@200 上下ﾀﾞﾌﾞﾙ
ホールインカーφ10@200上下2段 1ヶ所8本 3ヶ所 計24本
 - ・ 1F男子便所 床点検口新設 SUS製600角
 - ・ 1F男子便所 トイレース新設 P-1 詳細は建具表による
 - ・ 1F男・女子便所 床既存磁器モザイクタイルの上から塗りの上長尺塩ビシートt2.0貼り
 - ・ 1F男子便所 小便器部床 汚垂石貼 800x600 t5.5 2枚(参)リクシル キラミックステップスリム
 - ・ 1F男・女子便所 撤去部ライニング新設 L1・L2・L3
LGS90(L1は90ﾀﾞﾌﾞﾙ)+耐水合板t12下地化粧ケイカル板張り t6 トップ:ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ t20
 - ・ 1F多目的便所 床シート撤去後下地調整の上長尺塩ビシート2.0貼+ソフト巾木H100貼
 - ・ 1F多目的便所 ライニング増設 増設部はLGS90ﾀﾞﾌﾞﾙ+耐水合板12下地化粧ケイカル板6貼
既存ライニング部 既存モルタル仕上の化粧ケイカル板 t6 直貼 L4
トップ:ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ t20 目地シールはシリコンシーリングとする(男女便所共通)
 - ・ 1F女子便所 既存入口扉改造 表示付きサムターン錠取付 WD-1
 - ・ 2F事務室 南側サッシ AW-2 ガラス部 カッティングシート文字貼 300角9文字
 - ・ 2F事務室 東側サッシ部 AW-1 アルミ網戸新設 W800*H1600 3ヶ所
 - ・ 2F事務室 東側サッシ部 AW-1' 引違い片側窓 中間桟設定の上、上部アルミハル設置
- C 電気設備工事
- 1) 撤去工事
- ・ 1・2F工事対象諸室の既存照明器具の撤去 ※2F事務室に一部撤去なしあり
- 2) 電気設備工事 ※仕様は設計図参照のこと
- ・ 工事範囲共通 既存撤去照明器具部分にLED照明器具の新設
 - ・ 1F便所(共通) 洋風大便器用に電源及びコンセント新設 3ヶ所
 - ・ 1F男子便所 窓腰部にﾊﾞﾚｰﾋｰﾀｰ用電源及びコンセント新設
 - ・ 1F機械室前廊下 分電盤に上記新設電源のﾀｰﾐﾅﾙの新設
 - ・ 2F事務室 フリーアークレス床に事務機器用電源とﾊﾞﾚｰﾋｰﾀｰ用ﾗﾝﾍﾟ配線新設
- D 機械設備工事
- 1) 撤去工事
- ・ 1F男・女子、多目的便所 既存衛生器具、床下ﾋﾞｯﾄ内既存給排水管、ライニング内給排水管の撤去処分
 - ・ 2F湯沸室 ガス瞬間湯沸し器の撤去処分
- 2) 機械設備工事 ※仕様は設計図参照のこと
- ・ 1F男・女子、多目的便所 衛生器具、床下ﾋﾞｯﾄ内給排水管、ライニング内給排水管新設
 - ・ 1F男子便所 窓腰部にﾊﾞﾚｰﾋｰﾀｰ新設
 - ・ 2F事務室 窓アルミﾊﾞﾙ部に換気扇新設
 - ・ 2F湯沸室 電機温水器、混合栓新設
 - ・ 1F機械室 既存暖房用ﾊﾞｲｰの残置燃料(灯油)の抜取り ※抜取り油は市に引渡し



隣地
(畑)

幅員=4.500m

豊科1122号線

隣地
(民家)

隣地境界線

○電柱

植栽

外灯

駐車場
Co

物置

Co

DN

車路

Co

カーブミラー

DN

蓋付排水

道路境界線

G③
ME

工事建物

安曇野市豊科 5712-1

隣地境界線

車路

Co

駐輪場

Co

植栽

Co

DN

道路境界線

暗渠

水路

暗渠

豊科1118号線

道路幅員=15.000m

歩道
3.5m

車道
8.0m

歩道
3.5m

暗渠

工事名

令和5年度 新田書庫改修工事

図面名称

配置図

SCALE

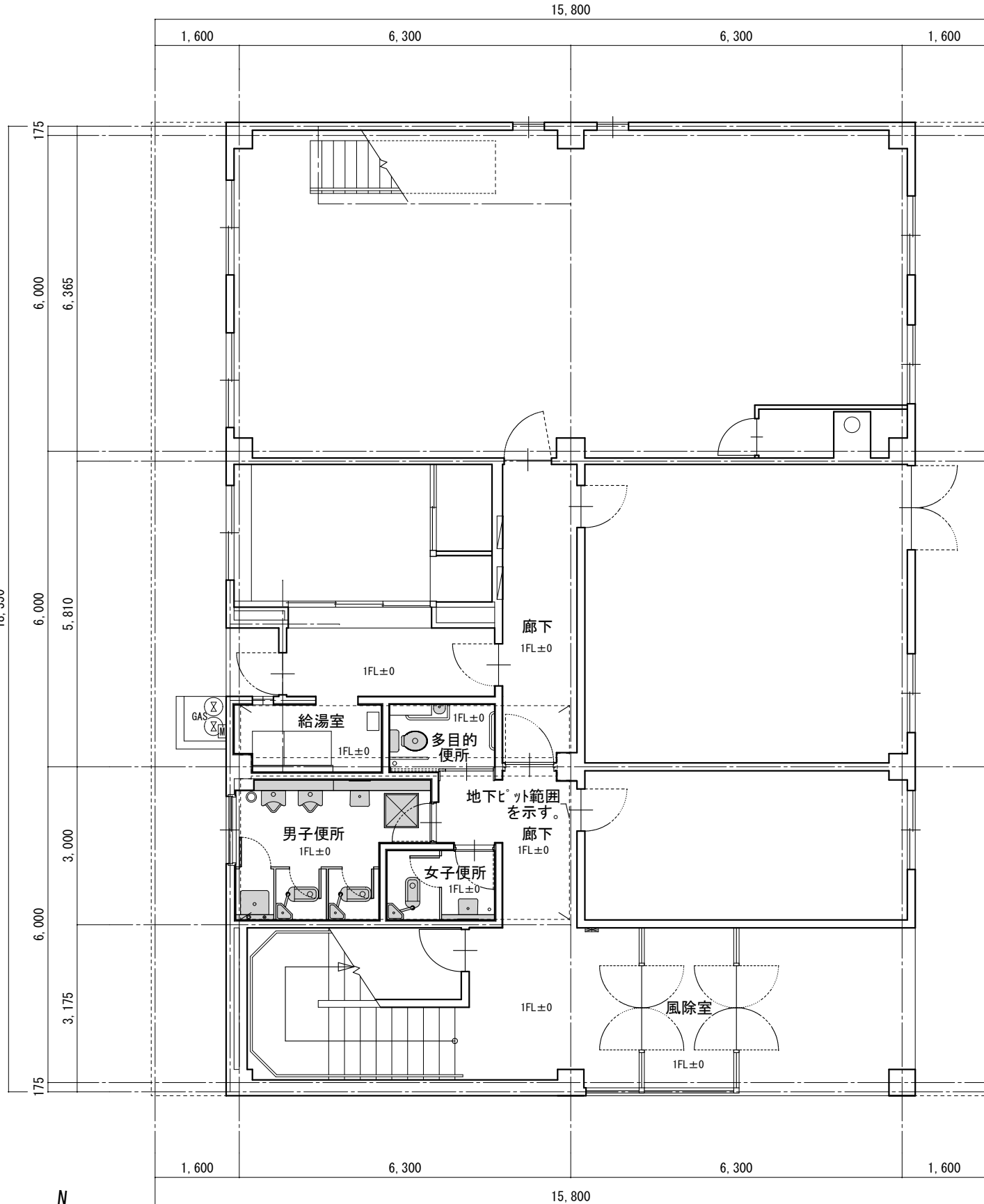
1/200

DATE

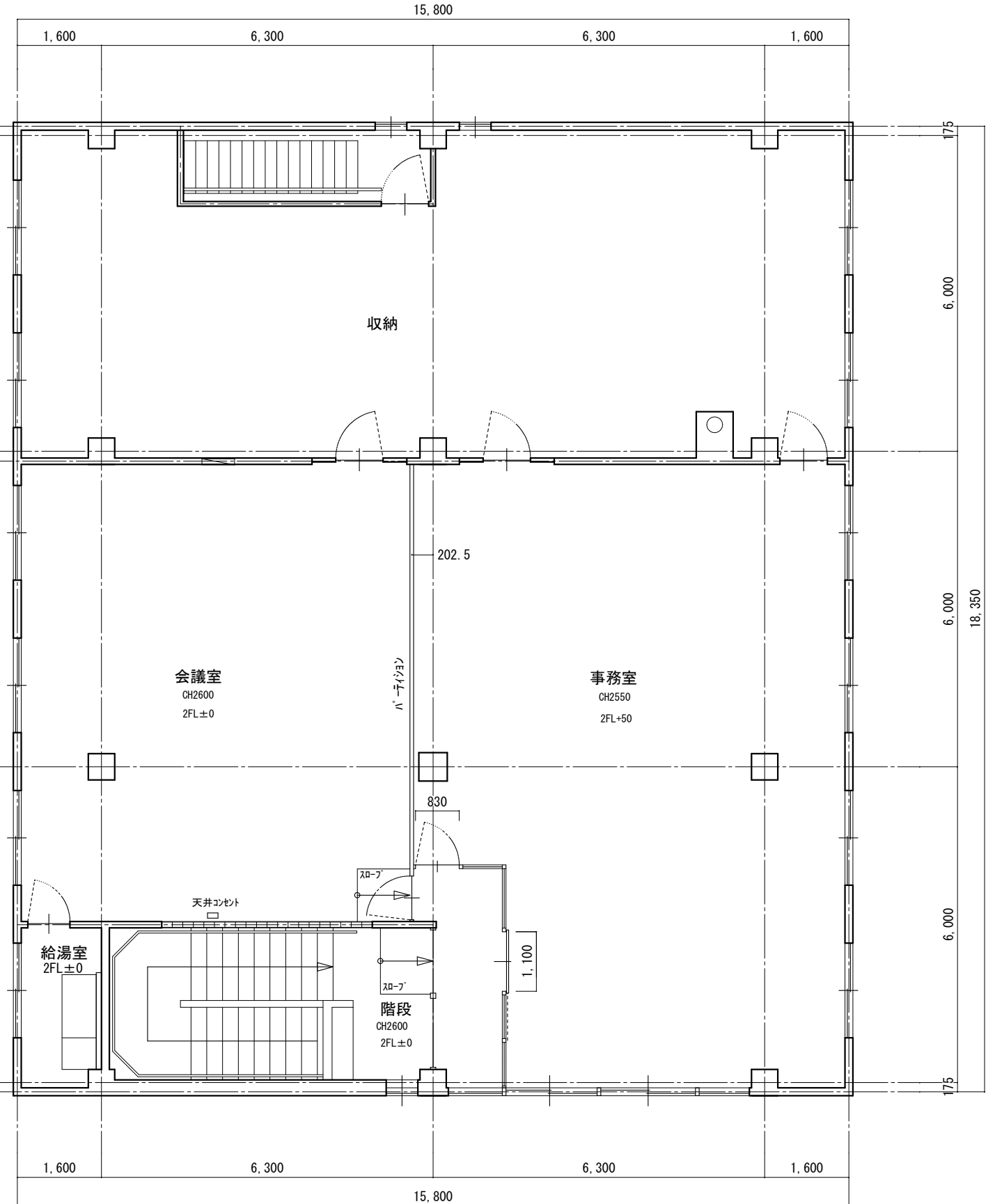
担当

NO

A-06

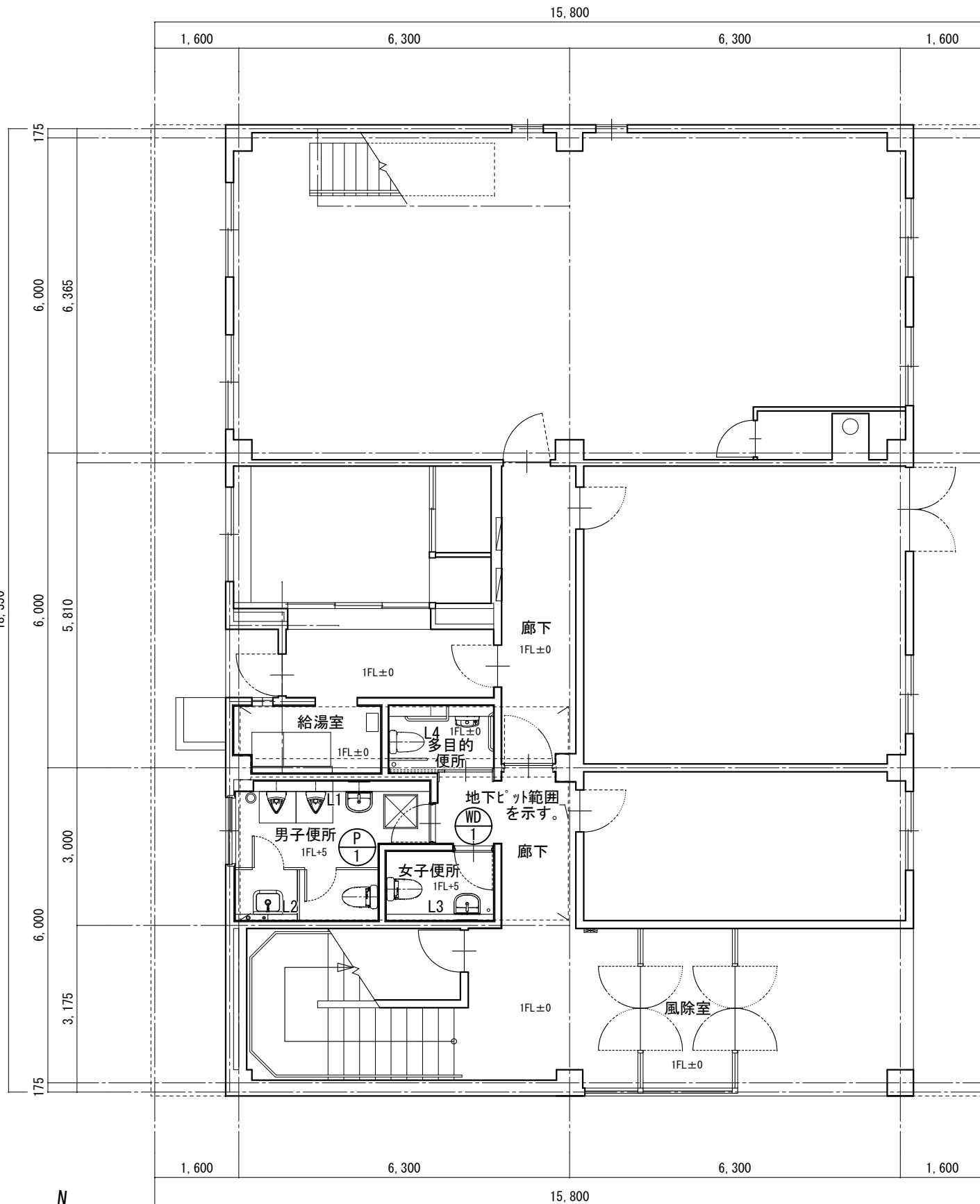


既存1階平面図

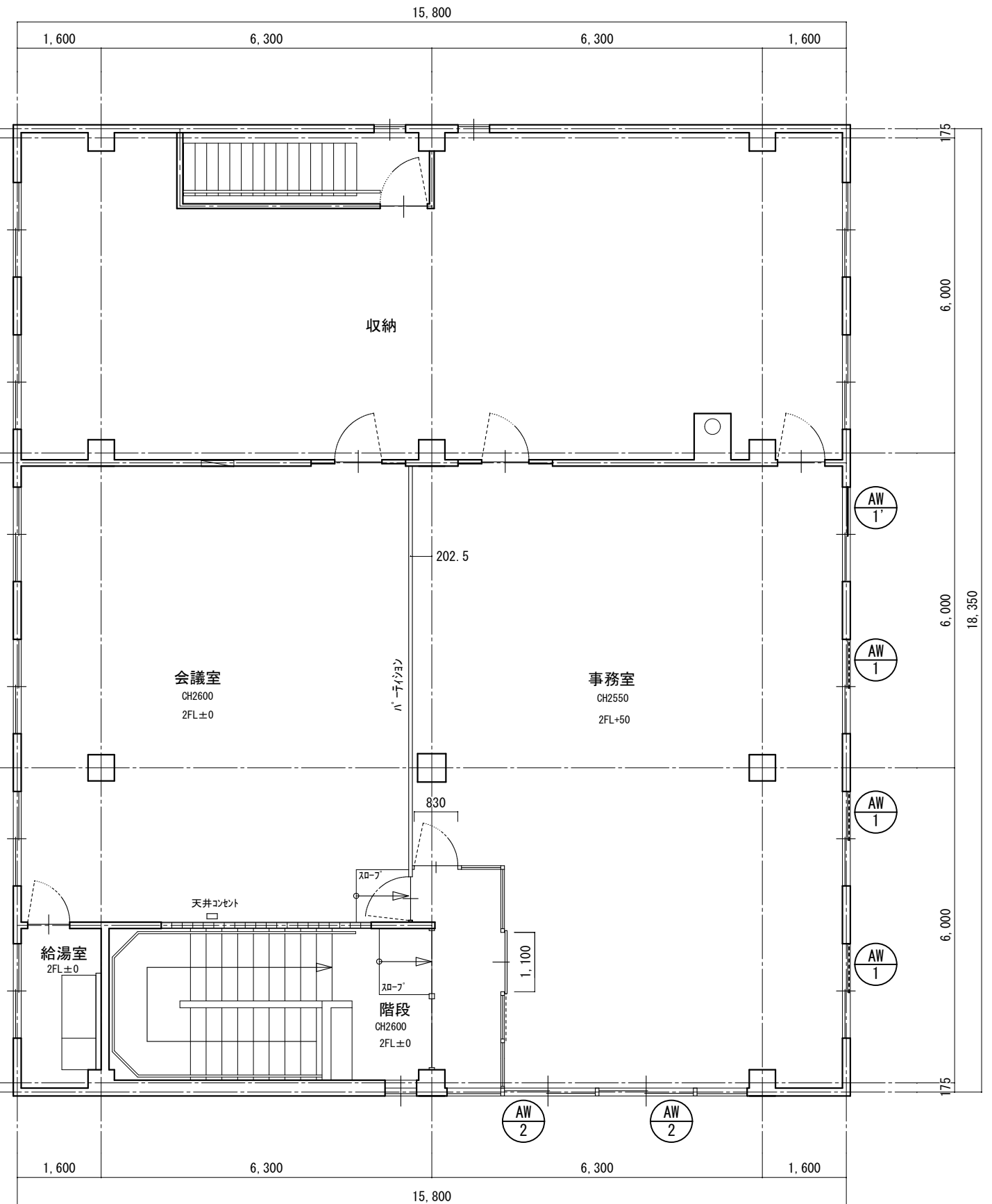


既存2階平面図

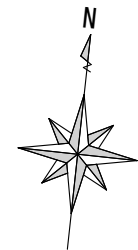
解体撤去処分範囲を示す。

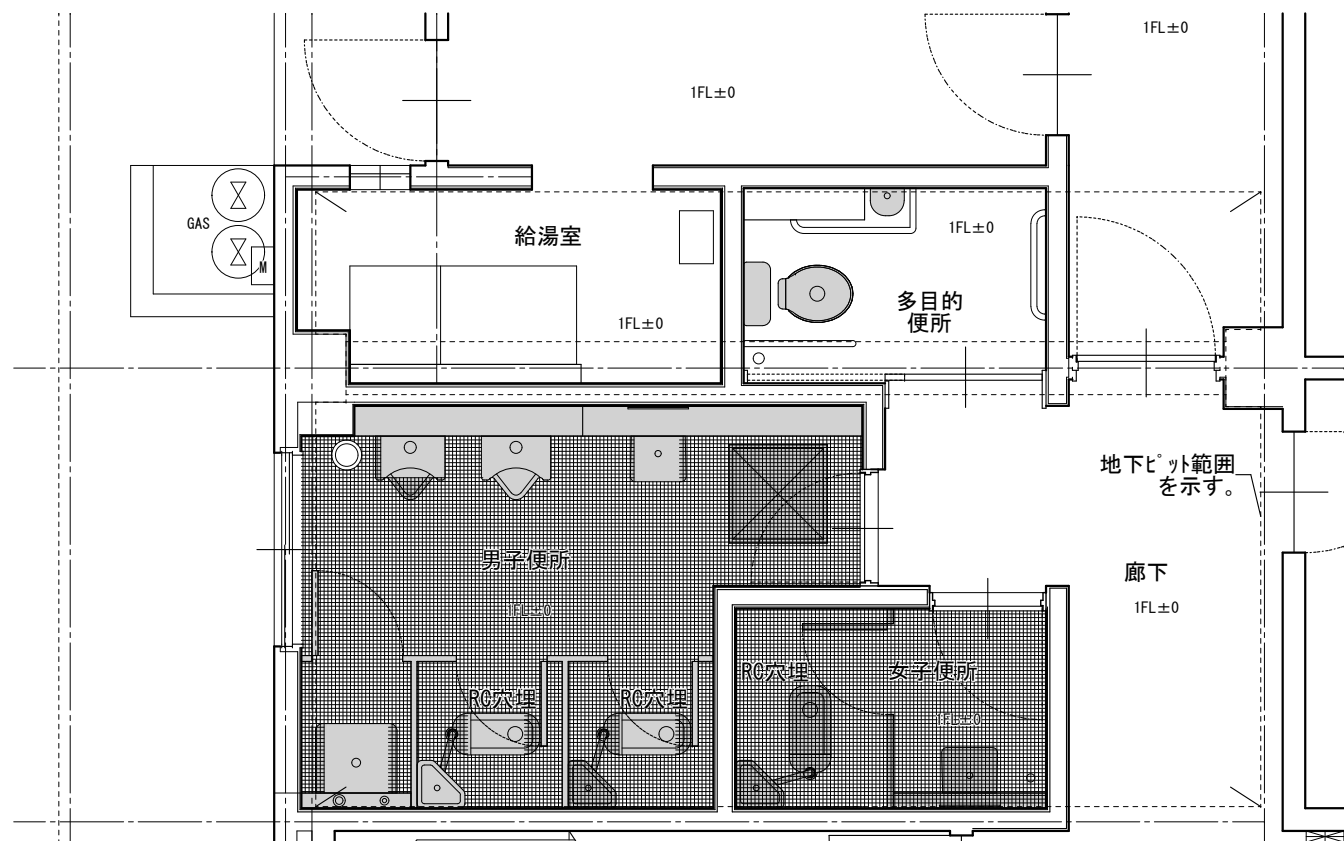
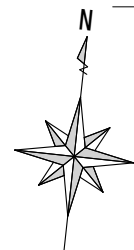


改修1階平面図



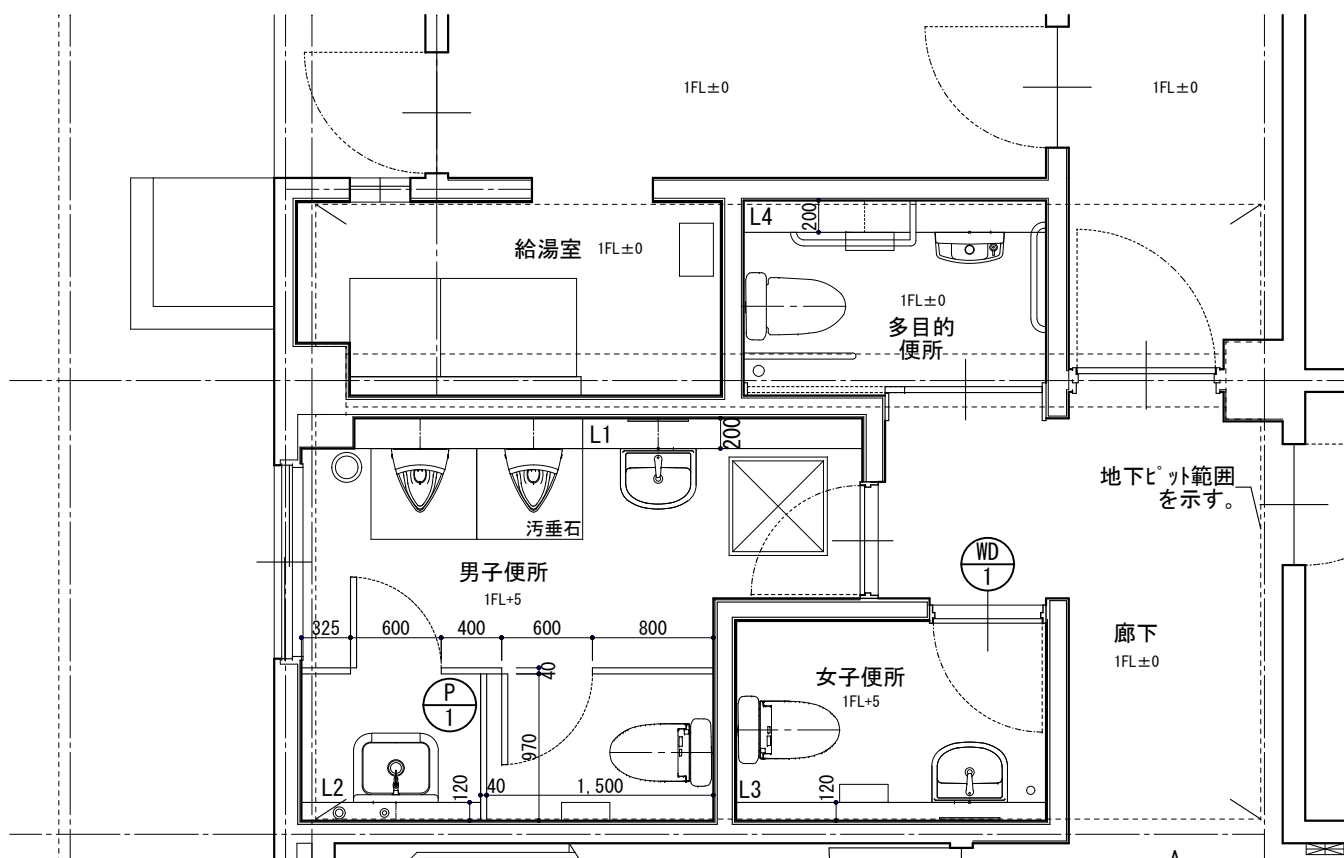
改修2階平面図



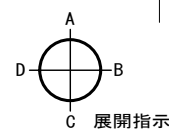


既存水廻り平面詳細図

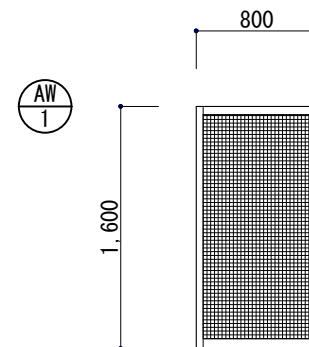
■ - 解体撤去処分範囲を示す。



改修水廻り平面詳細図

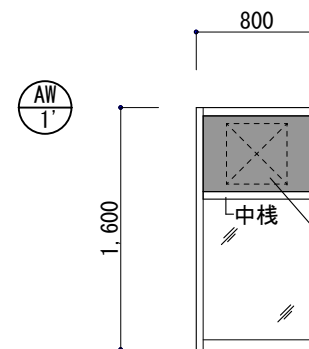


建具表



2F 事務室 既存アルミサッシ

網戸新設 W800xH1600 (ヒール用) 3ヶ所



2F 事務室 既存アルミサッシ

既存サッシ障子部に中棧組込、アルミバネ設置 1ヶ所

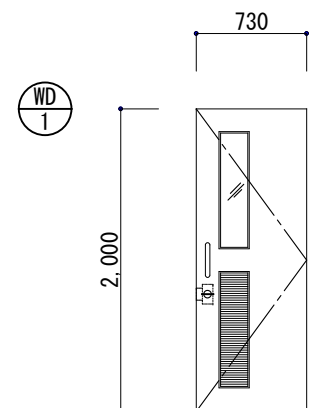
※既存透明ガラスカット

換気扇(電気設備工事)



2F 事務室 既存アルミサッシ

ガラス部 既存文字シール撤去及びクリーニングの上、カッティングシート文字貼 300角9文字



1F 女子便所 入口扉(既存品)

既存入口扉改造 表示付きサムターン錠取付



1F 男子便所 トイレブース

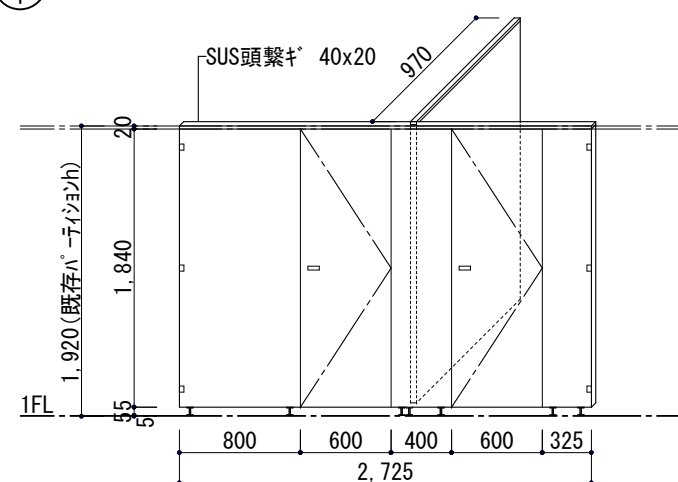
メラミンフラッシュトイレース(堅牢タイプ) t40

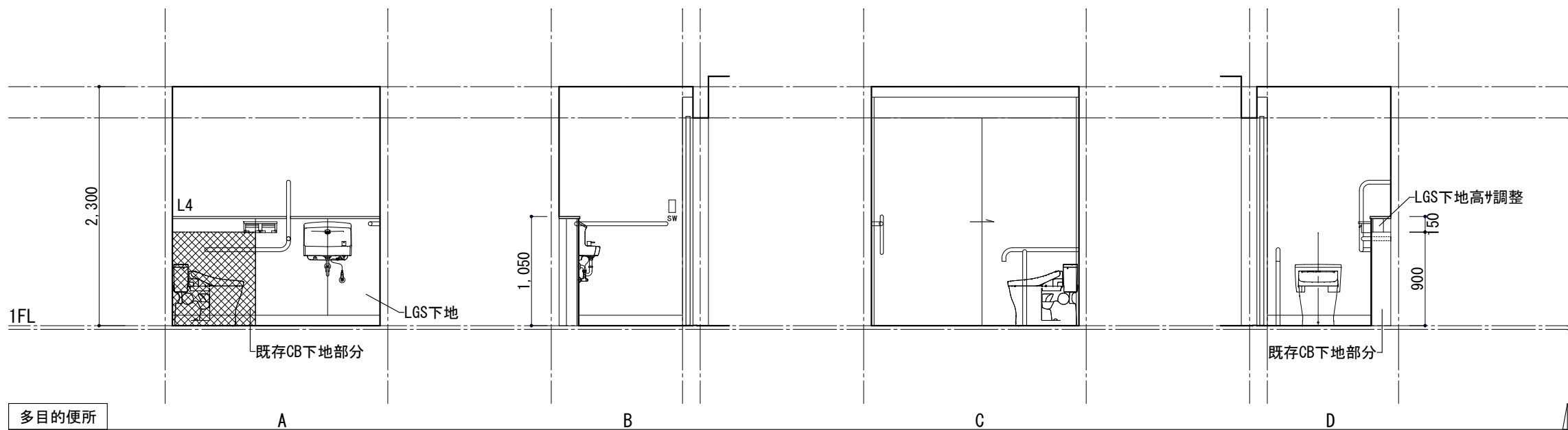
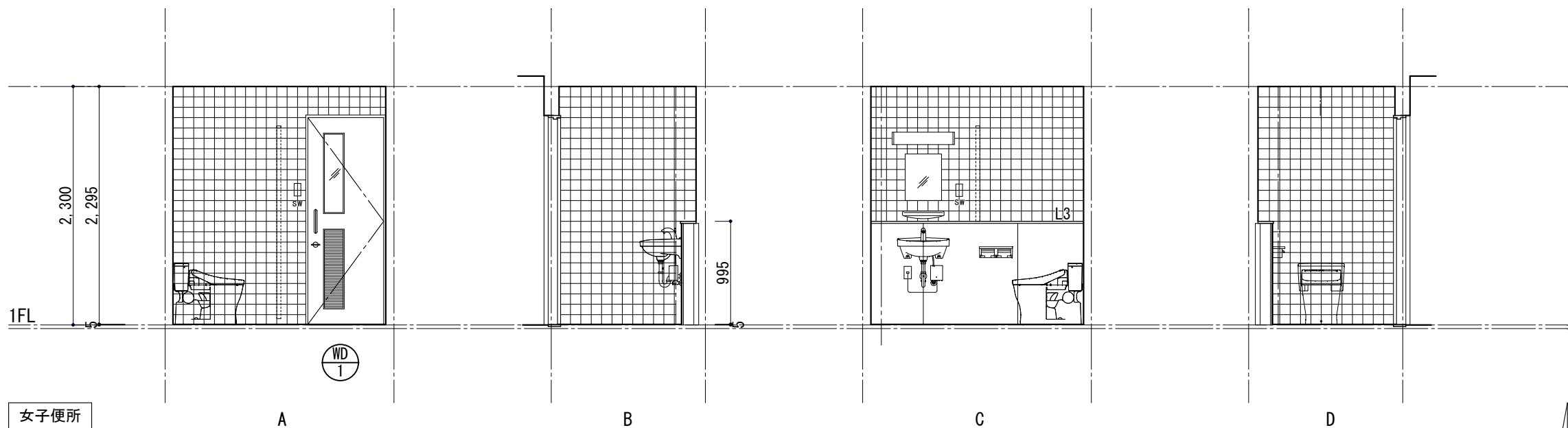
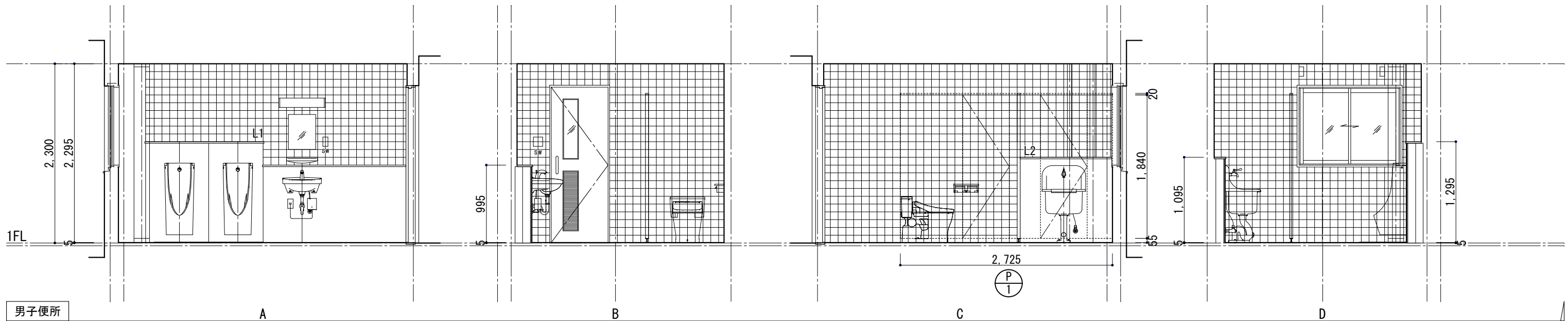
メラミン化粧板(無地色)一体型バネタイプ扉 t9

芯材:ペーパーコアフラッシュ

金物:中心吊 グラビティーヒンジ スライド表示錠 戸当り

アルミレジック SUS脚金物 SUS頭繋ぎ





電 気 設 備 工 事

工事概要

1 工事場所

建 物 名 称	構 造	階 数	延面積 (m2)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
旧法務局	R C	2			改修階 1・2 階

3 工事種目

工事種目	項目	建物別及びび種外			
		1階	2階		
電灯設備	電灯・コンセント	○	○	*	
動力設備	幹線、分岐	*	*	*	
電熱設備	幹線、分岐	*	*	*	
雷保護設備		*	*	*	
受変電設備	改修	*	*	*	
静止形電源設備	直流電源装置	*	*	*	
発電設備		*	*	*	
		*	*	*	
構内情報通信網設備	L A N用配線	*	○	*	
構内交換設備	電話設備	*	○	*	
情報表示設備	時計設備	*	*	*	
映像・音響設備		*	*	*	
拡声設備		*	*	*	
遠隔支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備	*	*	*	
テレビ共同受信設備		*	*	*	
監視カメラ設備		*	*	*	
駐車場管制設備		*	*	*	
防犯・入退室管理設備	予備配管	*	*	*	
自動火災報知設備		*	*	*	
自動閉鎖設備		*	*	*	
非常警報設備	非常放送装置	*	*	*	
ガス漏れ警報設備		*	*	*	
中央監視制御設備		*	*	*	
		*	*	*	
構内配電線路		*	*	*	*
構内通信線路					*
					*
昇降機設備					*
					*

4 図面目録

番 号	図面名称	番 号	図面名称
1	電気設備特記仕様書	21	
2	電灯設備図	22	
3	照明器具配置図	23	
4	コンセント設備図	24	
5	電話・情報設備図	25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

Ⅱ 工事仕様

1 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁情報部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。及び「公共建築設備工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準」という。)による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項						
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。						
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。						
③ 化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（１）から（５）を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のもをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ホルムアルデヒド放散量</th><th>該当する建築材料</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規制対象外</td><td> ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 </td></tr> <tr> <td>第三種</td><td> ①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JBJISのE0規格品 ④IBJASのF0規格品 </td></tr> </tbody> </table>	ホルムアルデヒド放散量	該当する建築材料	規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JBJISのE0規格品 ④IBJASのF0規格品
ホルムアルデヒド放散量	該当する建築材料						
規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用						
第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JBJISのE0規格品 ④IBJASのF0規格品						
④ 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。						
⑤ 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。						
⑥ 実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承認を受けること。						
⑦ 使用材料発注先調査	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調査を作成し提出する。						
⑧ 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの ○無 ・有（PCB含有高圧機器（調査結果による）） (2)引渡しを要するもの以外 ○隅外搬出、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ○無 ・有（PCB含有高圧機器（調査結果による）） (4)再利用又は再資源化を図るもの ○無 ・有（・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類） ○敷けない ・設ける（規模：） ・備品（）						
⑨ 監督員事務所							
⑩ 工事用仮設物	すべて該負荷の負担とする。 構内に作ることが ○できる ・できない						
⑪ 足場・さん堀類	・別契約の関係該負荷が定置したものは、無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 ・内部仮設足場等（・架台足場・移動式足場・移動式室内足場） ・外部仮設足場等（・A種・B種・C種・D種） ・防護シート（）						
⑫ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び公害等その他の関係機関への諸手続等に要する費用は該負荷の負担とする。（工事用電力は校舎の分電盤から子メーターより給電する事）						
⑬ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。						
⑭ しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。						
⑮ 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。						
⑯ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005版（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承認を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次のよう。						

項目

特記事項

設計用標準水平地震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
地下・1階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6

（※1）水槽類にはオイルタンク等を含む。

●重要機器の定義は次による。

・変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置

・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置

◎上層階の定義は次による。

2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、

10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

(2)設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章の2第2.8.4及び11節による。

(2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。

(引続き試験を ・実施する ・実施しない)

電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の間隔から写真撮影し、工事写真等として提出する。

(1)EM-EFFは紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、*「フタゲイム」* EM-EFFと表記されたものを使用する。

(2)EM-UTPはJIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。

予備配管

埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。

呼び線

長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆電線を挿入する。

金属製電線管の塗装

下記の露出配管は塗装を行う。

・屋外 ・屋内（ ）

埋め戻し土

・種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種

・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める

建設発生土の処理

・場外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し

ケーブル埋設票

(1)地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製

(2)低圧地中配線にあっても地中線路設備隠蔽シートを敷設する。

(3)配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線路設備隠蔽シートは2条以上敷設する。

ブルボックス

(1)露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。

(2)露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。

フラッシュプレート

図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製

プレートの用途表示

ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を安装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。

配線器具

タンブラスイッチは通形とする。

壁付コンセント(2P15A)は原則として通形とする。ただし、2口の場合は横式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。

フロアコンセント

・直付（ビス止め）型上下式（銅合金製・アルミ製）とする

・直付（ビス止め）型垂直上下式（銅合金製）とする

機器への接続

本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。

照度測定

(1)非常用照明の照度測定は設置後速やかに、監督職員に報告する。

(2)学校施設における室内照度測定（測定教室： 備所、測定黒板面： 備所）

※教室の照度は、1教室当たり机上9か所、黒板裏面直下9か所測定する

塗類

(1)分電盤等の図面ホルダーに、単線絡線図・絶縁絡線判定表・接地抵抗測定表を収納する。

(2)鏡子壁には、絡番表・絡線表を備え付ける。

グリーン購入の推進

長野県グリーン購入推進方針に基づき調達項目

<資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・（ ）

<建設機器> ・排ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器

工事区分表（平成 年版）による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。

他工事又は他工程との取合い

その他及び電子納品

保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。

（長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公告の添付図書）

(別表) しゅん工時提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個別提出物	一括提出物
① 完成図	5 機器完成図
・ 原因（A1版 ケース入り）	⑥ 工事写真
・ 隣画（A1 2つ折り製本 1部）	⑦ 完成写真
・ マイクフィルム	8 工事記録（打合せ簿、工事日誌、協議書）
（アパーチャカード貼付 台紙は黄色）	9 機材の試験成績書
○ CADデータJWG、JWW 交換可能ソフト使用	⑩ 施工の試験成績書
2 設計図	⑪ 社内試験成績書
・ A4版3部ファイル綴	⑫ 発生材処理報告書 （廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・ manifests の写し、フロー図）
3 引渡書	13 納入品一覧表
4 納入品	14 官公署手続、検査書（管理者用正本、写し）
・ 予備品 ・ハンドホールフック、ジャッキ	15 保全に関する資料（取扱説明書も含む）
・ 塗類の壁	

3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)
 ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
 ・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
 ・ブロックの仕様は国土交通省仕様に至るものとする。

・	ハンドホール N o. -	1、500×1、500×1、500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、740以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N o. -	1、200×1、200×1、500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、700以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N o. -	1、000×1、000×1、400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、600以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N o. -	1、000×1、000×1、100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、300以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N o. -	1、000×1、000× 900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、060以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N o. -	900× 900×1、100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、260以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N o. -	900× 900× 900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、060以上 (既製品足付)
・	ハンドホール N o. -	600× 600× 680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製品足付)
・	ハンドホール N o. -	450× 450× 680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※補数等車庫の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	A 種接地	銅板1.5t×900×900 リード端子付 堀削現場中心深さ	補助接地棒 (連続10φ×1,500) 2m 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
・	B 種接地	銅板1.5t×600×600 リード端子付 堀削現場中心深さ	補助接地棒 (連続10φ×1,500) 2m 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
・	C 種接地	銅板1.5t×300×300 リード端子付 堀削現場中心深さ	補助接地棒 (連続10φ×1,500) 1.5m 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
・	D 種接地	接地棒 (10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み式 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)

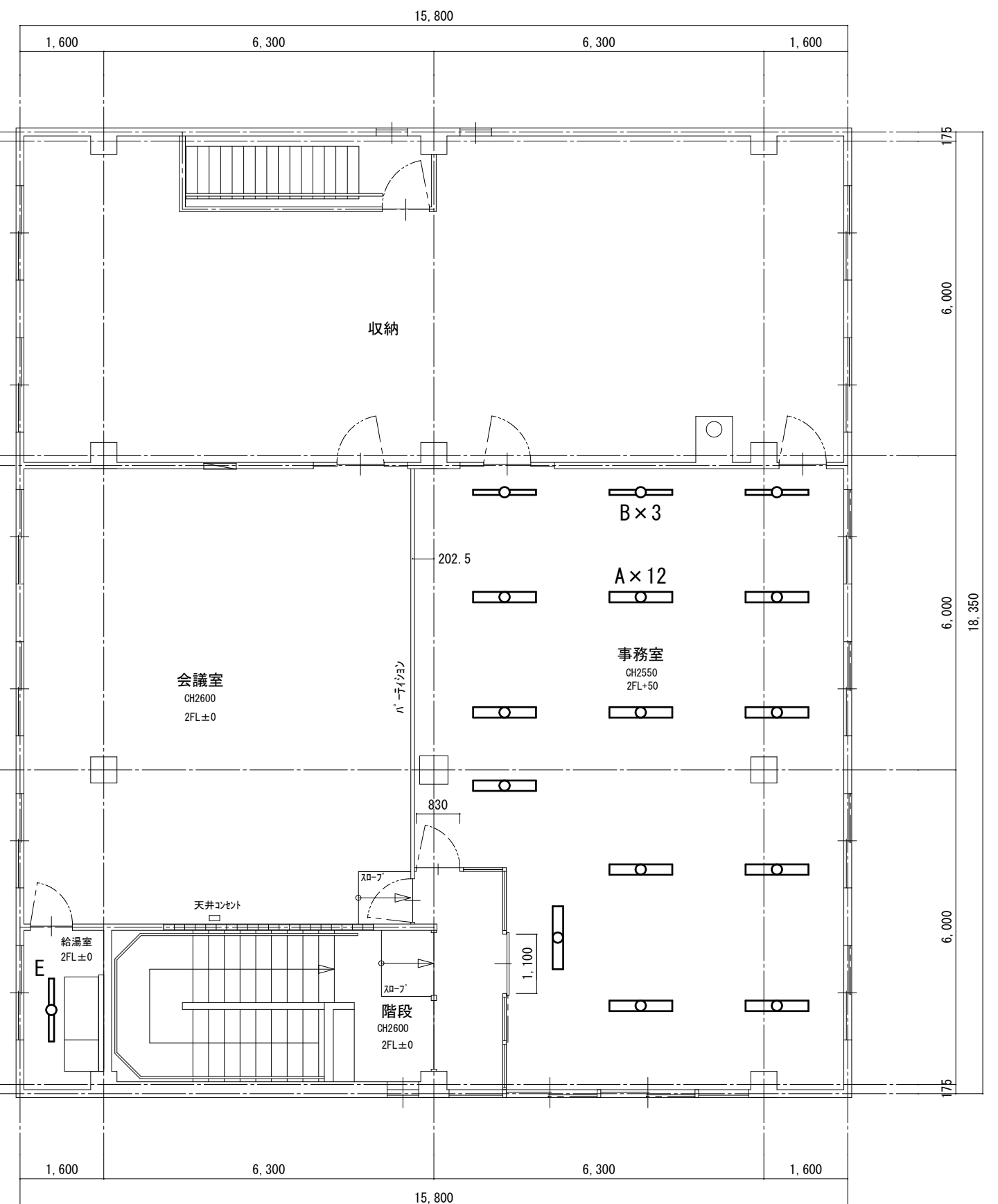
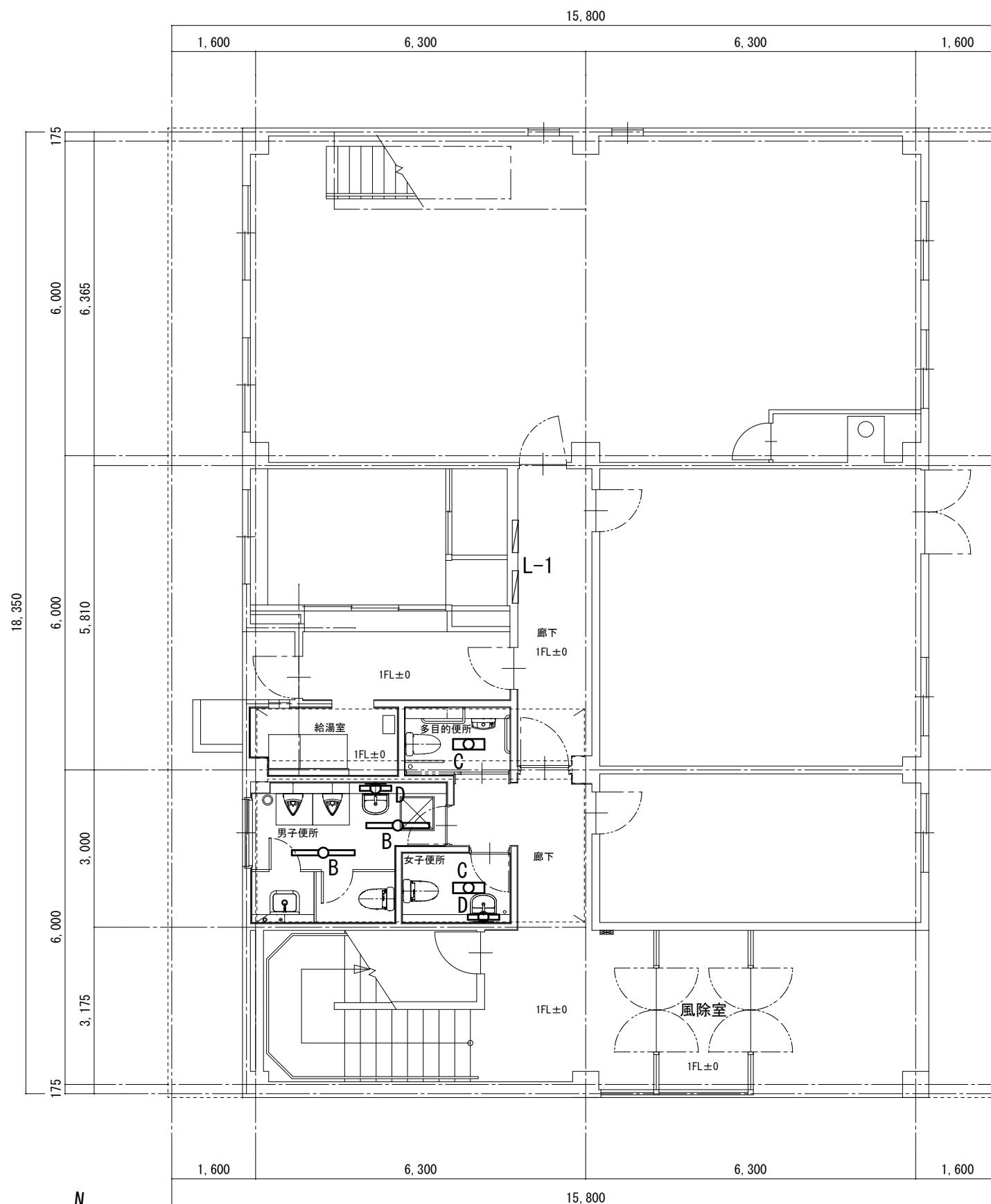
5 機器取付高

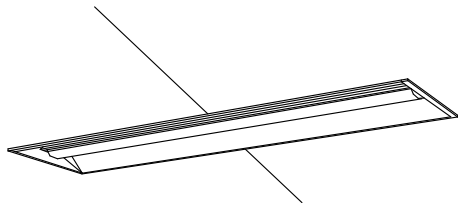
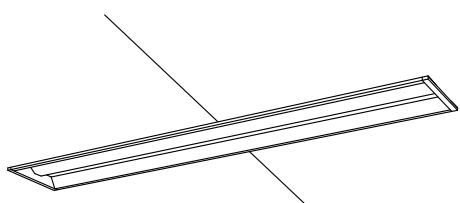
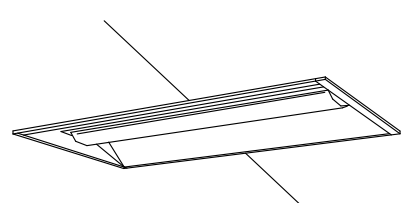

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

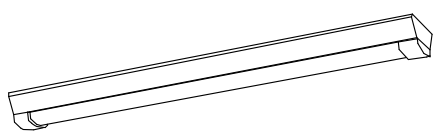
	名 称	測 点	取付高 (mm)		名 称	測 点	取付高 (mm)	
共通	取引用計器	地上～上端	2,000	時計・ 拡声	壁掛形観時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	
	引込開閉器	床下～上端	1,800		時計計	〃	〃	(天井高)×0.9
	警報盤	床上～中心	1,500		壁掛形スピーカー	〃	〃	(天井高)×0.9
	動作盤	床上～上端	2,000		アッテネーター	〃	〃	1,300
電	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	表	表示盤	床上～中心	(天井高)×0.9	
	タンブラスイッチ	〃	1,300		表示発信器	〃	〃	1,300
	〃 (身障者用)	〃	1,100		ベル	〃	〃	(天井高)×0.9
	コンセント(一般)	〃	300		フザー	〃	〃	(天井高)×0.9
	〃 (和室)	〃	150		押ボタン	〃	〃	1,300
	〃 (便所等)	〃	500		〃 (身障者用押錠)	〃	〃	900
灯	〃 (台上)	台上～中心	150	示	〃	〃	2,000	
	ブラケット(一般)	床上～中心	2,100		身障者用表示灯	〃	〃	1,900
	〃 (隔墙)	〃	2,500		復舊ボタン	〃	〃	
	〃 (鏡上)	鏡端～中心	150		イン タ ー ホ ン	壁付インターホン	床上～中心	1,500
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上		〃 (身障者用)	〃	〃	1,100
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下		壁付位置ボックス	〃	〃	
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	ホ ン	(壁付インターホンを除く)	〃	〃	
	手元開閉器	〃	1,500		〃 (一般)	〃	〃	300
	操作スイッチ	〃	1,300		〃 (和室)	〃	〃	150
	押ボタン	〃						
電	室内端子盤	床上～下端	300 (廊下・室内)	テレビ 共同 受信	機器収容箱	床上～中心	(天井高)×0.9	
	中間端子盤	床上～中心	1,500		アウトレット	〃 (一般)	〃	300
	CPIS・電気室	〃			〃 (和室)	〃	〃	150
	集合保安装置	〃	(天井高)×0.9					
話	壁付アウトレット ボックス(一般)	〃	300	火 災 報 警	受信機	床上～操作部	800～1,500	
	〃 (和室)	〃	150		副受信機	〃	〃	800～1,500
					機器収容箱	床上～中心	〃	800～1,500
					発信器	〃	〃	800～1,500
				ベル	〃	(天井高)×0.9		
					消火栓表示灯	〃	(天井高)×0.8	

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines, typical of notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

工事名	令和5年度 新田書庫改修工事	図面名称	電気設備特記仕様書	SCALE	NON	DATE	担当			NO	E-01
-----	----------------	------	-----------	-------	-----	------	----	--	--	----	------



A	一体型LEDベースライト 埋込型	B	一体型LEDベースライト 埋込型	C	一体型LEDベースライト 埋込型	D	LEDブラケット
<div></div> <p>一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W300 単体 パナソニック 埋込XLX459VENLE9 相当品</p>		<div></div> <p>リニューアル専用、一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W190 パナソニック 埋込XLX429RENLE9 相当品</p>		<div></div> <p>リニューアル専用、一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>iDシリーズ埋込型20形 下面開放型 W300 パナソニック 埋込XLX219VENLE9 相当品</p>		<div></div> <p>昼白色（5000K）、高演色Ra93 器具光束885lm、消費電力17.2W、電圧100V 拡散タイプ、美ルック、電源ユニット内蔵 位相制御式（2線式）、照射方向可動型、可動範囲80度 カバー：（ホワイト） 光源寿命40000時間（光束維持率70%） W=705 H=100 出しろ110</p> <p>ブラケット 20形直管蛍光灯1灯器具相当 パナソニック LGB81805LB1 相当品</p>	

E	一体型LEDベースライト 防湿・防雨型
<div></div> <p>一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板（クロムフリー・高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）＋アクリルコーティング 光源寿命40000時間（光束維持率85%） IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>iDシリーズ直付形40形 Dスタイル 防湿型・防雨型 W150 パナソニック 直付XLW422AENZLE9 相当品</p>	

〈照明器具取替〉

1階

男子便所 女子便所 多目的便所

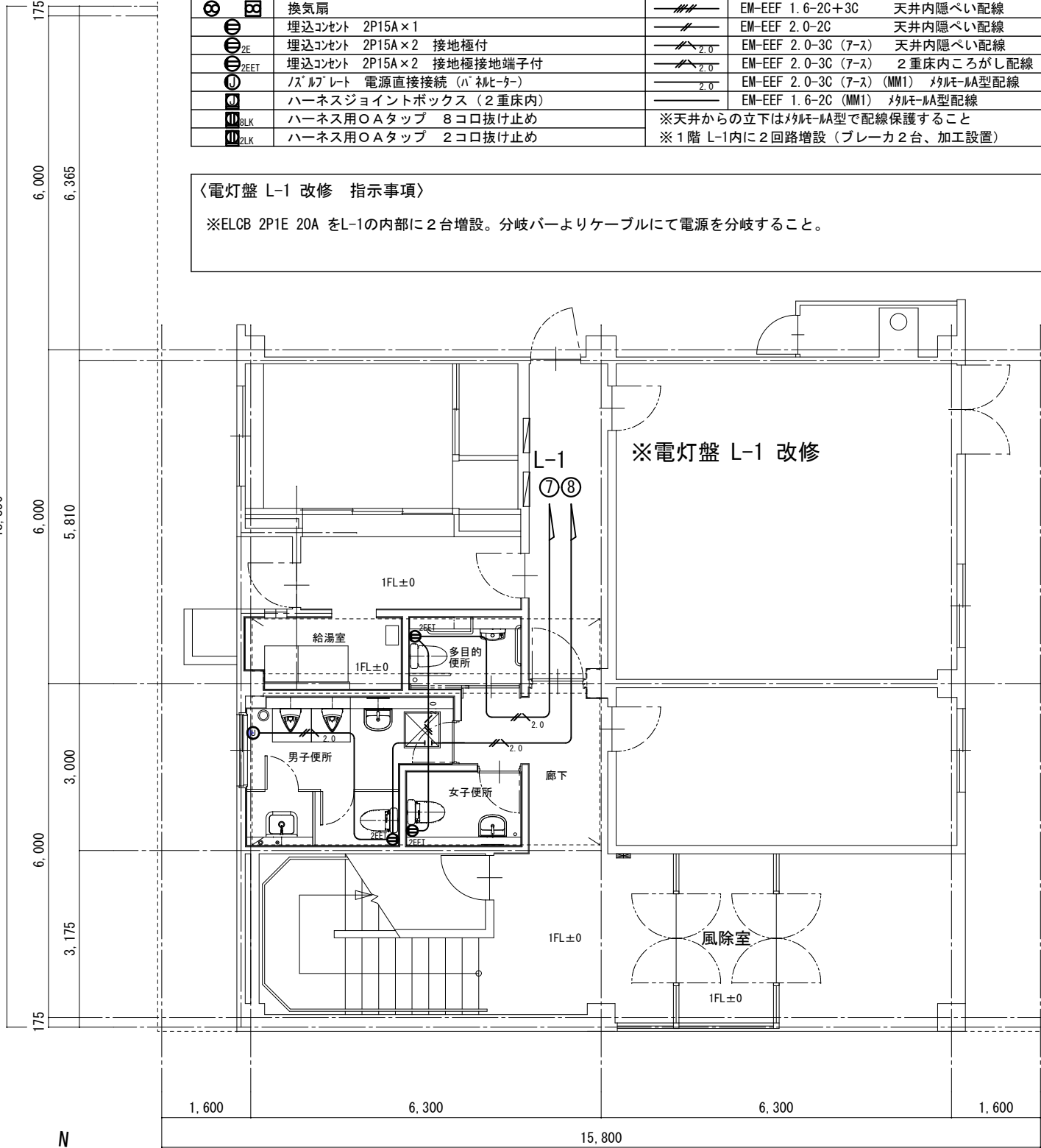
2階

事務室 給湯室

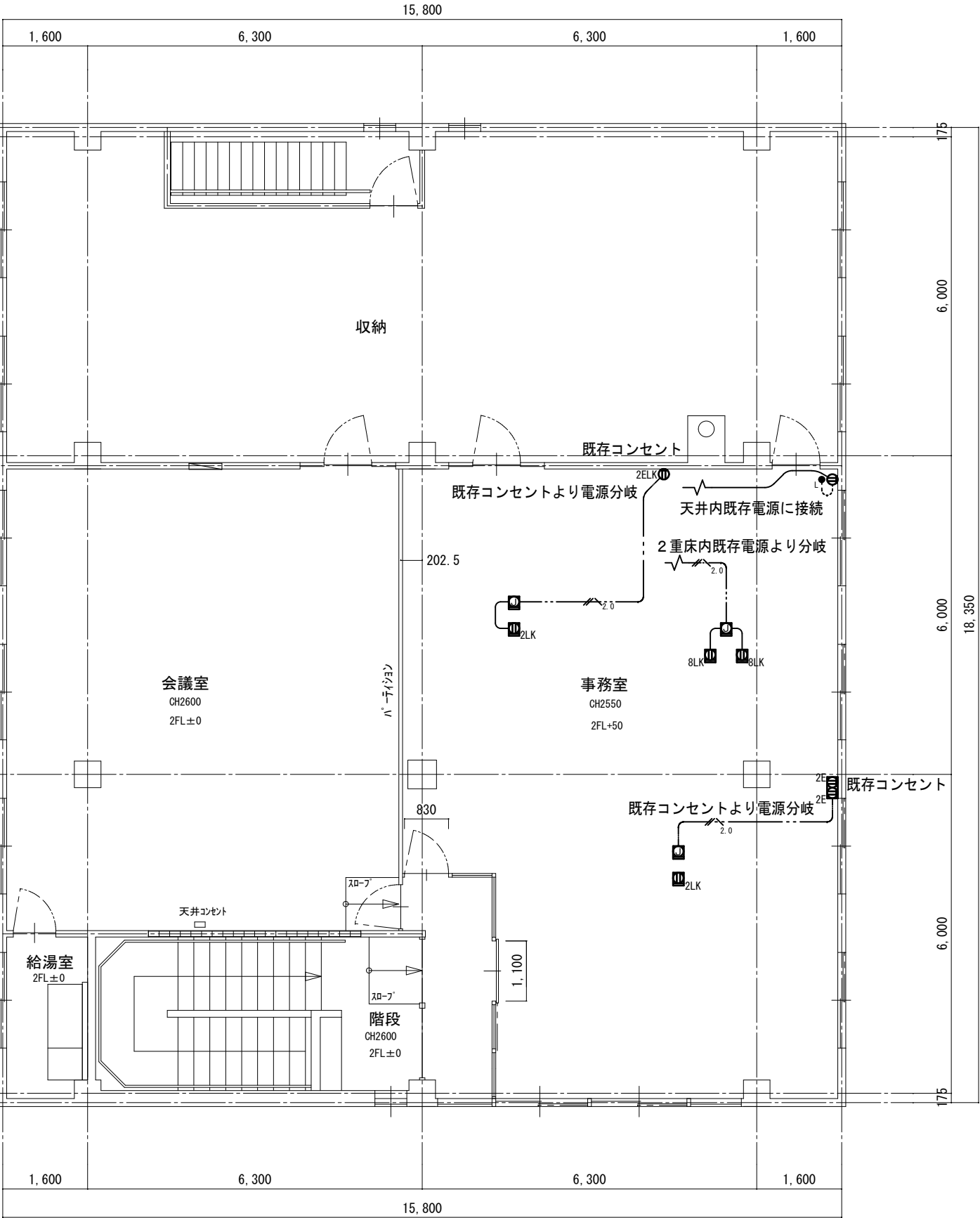
凡 例	※ 特記なき配管・配線は下記による。		
電 灯 ・ コ ン セ ン ト 設 備			
●	埋込スイッチ 1P15A 3:3路 4:4路 L:ハイドットスイッチ	———	EM-EEF 1.6-2C 天井内隠ぺい配線
	3WP:3路防水 AS:自動点滅器100V 3A 4線式	———	EM-EEF 1.6-3C 天井内隠ぺい配線
	埋込スイッチ 1P15A + コンセント 2P15A×2 接地極付 (同一ボックス内に収める)	———	EM-EEF 1.6-3C (7-ス) 天井内隠ぺい配線
		———	EM-EEF 1.6-2C×2 天井内隠ぺい配線
⊗	換気扇	———	EM-EEF 1.6-2C+3C 天井内隠ぺい配線
⊕	埋込コンセント 2P15A×1	———	EM-EEF 2.0-2C 天井内隠ぺい配線
⊕ _{2E}	埋込コンセント 2P15A×2 接地極付	———	EM-EEF 2.0-3C (7-ス) 天井内隠ぺい配線
⊕ _{2EET}	埋込コンセント 2P15A×2 接地極接地端子付	———	EM-EEF 2.0-3C (7-ス) 2重床内ころがし配線
⊕	ハズルプレート 電源直接接続 (ハズルヒーター)	———	EM-EEF 2.0-3C (7-ス) (MM1) マルモ-LA型配線
⊕	ハースジョイントボックス (2重床内)	———	EM-EEF 1.6-2C (MM1) マルモ-LA型配線
⊕ _{2LK}	ハース用OAタップ 8コロ抜け止め	※天井からの立下はマルモ-LA型で配線保護すること	
⊕ _{2LK}	ハース用OAタップ 2コロ抜け止め	※1階 L-1内に2回路増設 (ブレーカ2台、加工設置)	

〈電灯盤 L-1 改修 指示事項〉

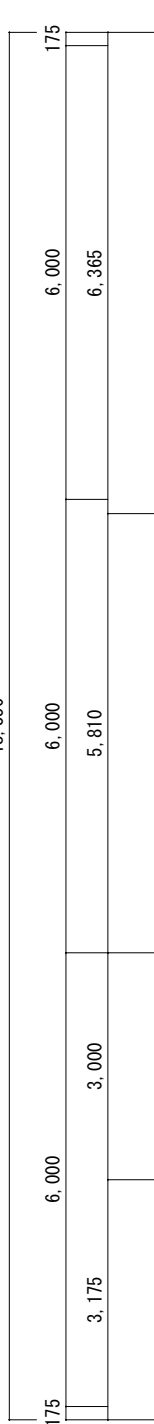
※ELCB 2P1E 20A をL-1の内部に2台増設。分岐バーよりケーブルにて電源を分岐すること。








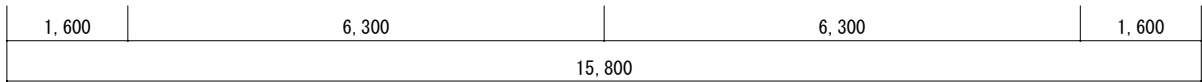
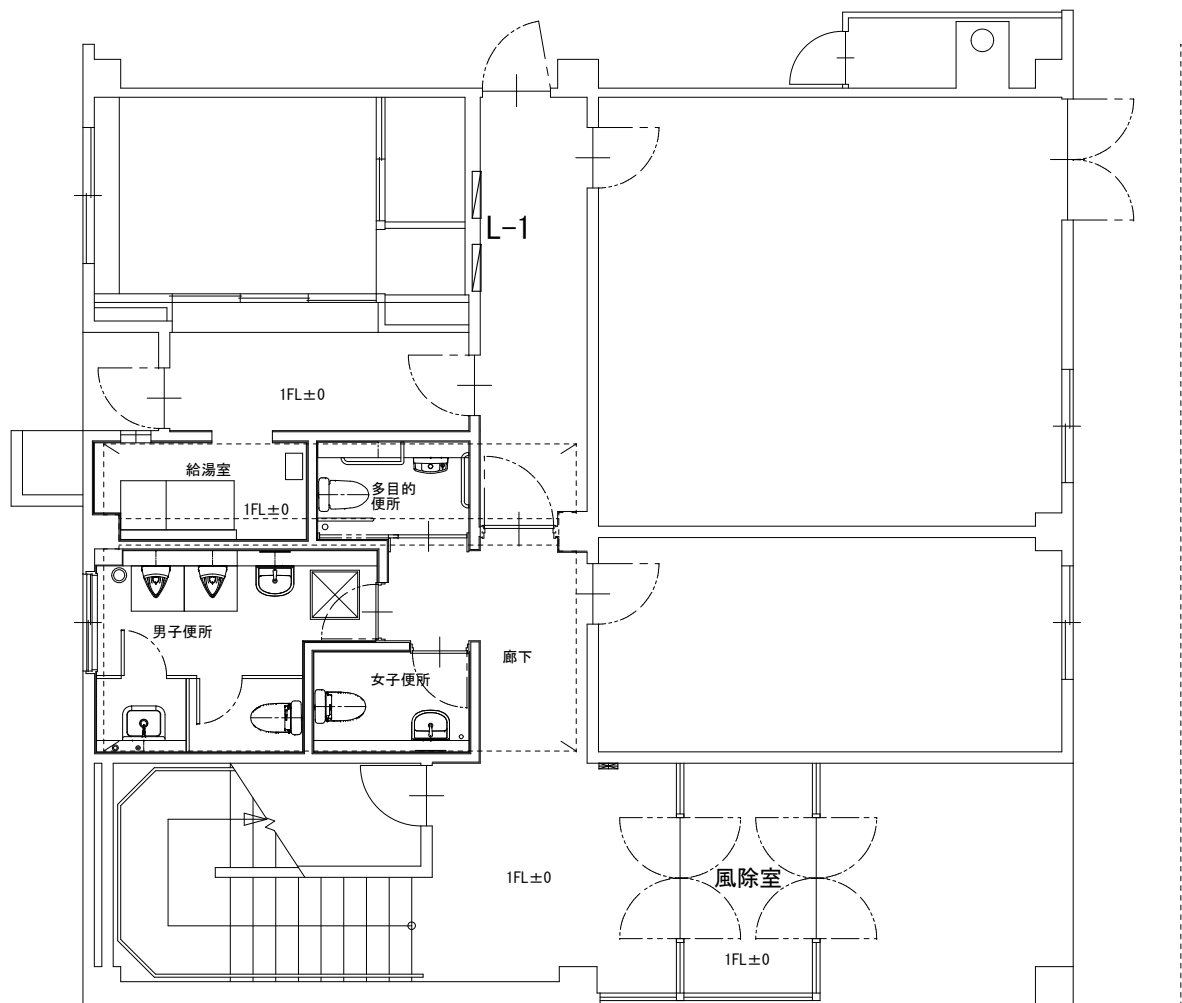
改修1階平面図



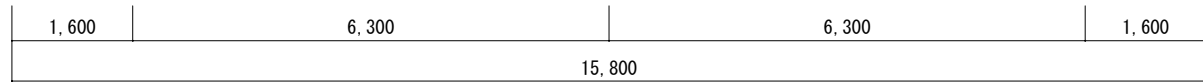
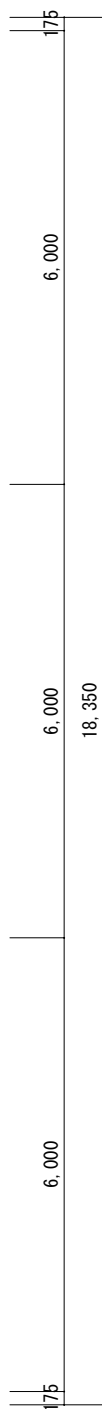
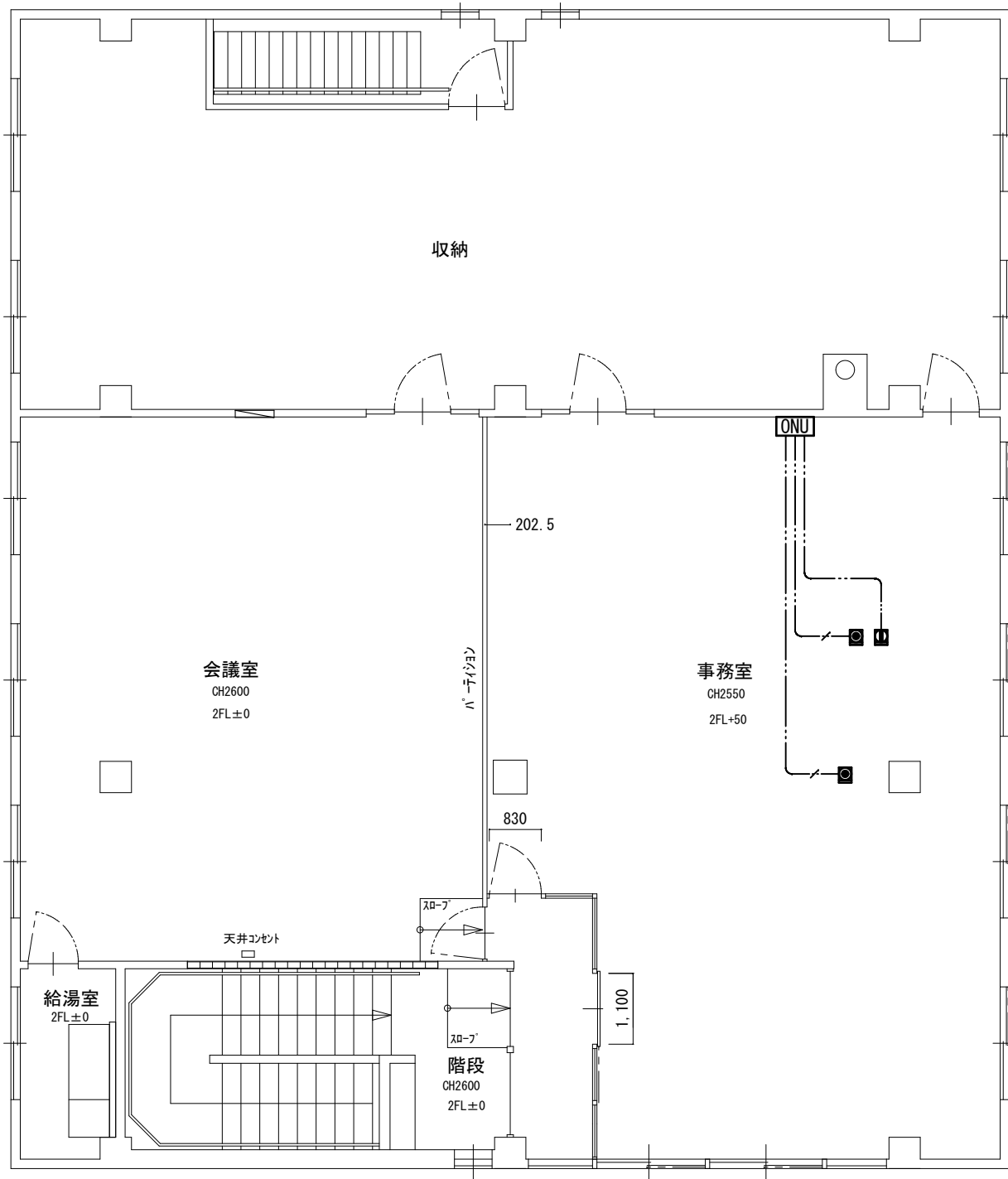
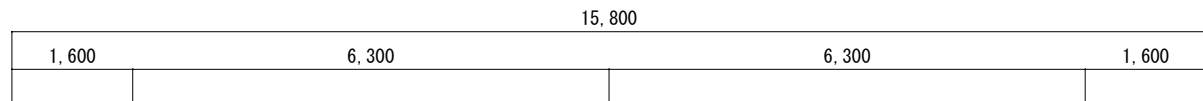
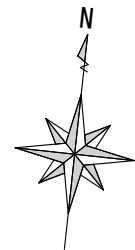
改修2階平面図



凡 例	※ 特記なき配管・配線は下記による。		
電話・情報設備			
	情報用 (LAN) ケーブル 8 極 8 心		EM-UTP Cat5e 2 重床内ころがし配線
	電話用モジュージャック 露出 6 極 4 心		EBT 0.4-2P 2 重床内ころがし配線
	光回線終端装置		
		※終端装置からの立下はMFL-MIA型で配線保護すること	
		※終端装置設置まではNTT工事（お客様申込）	



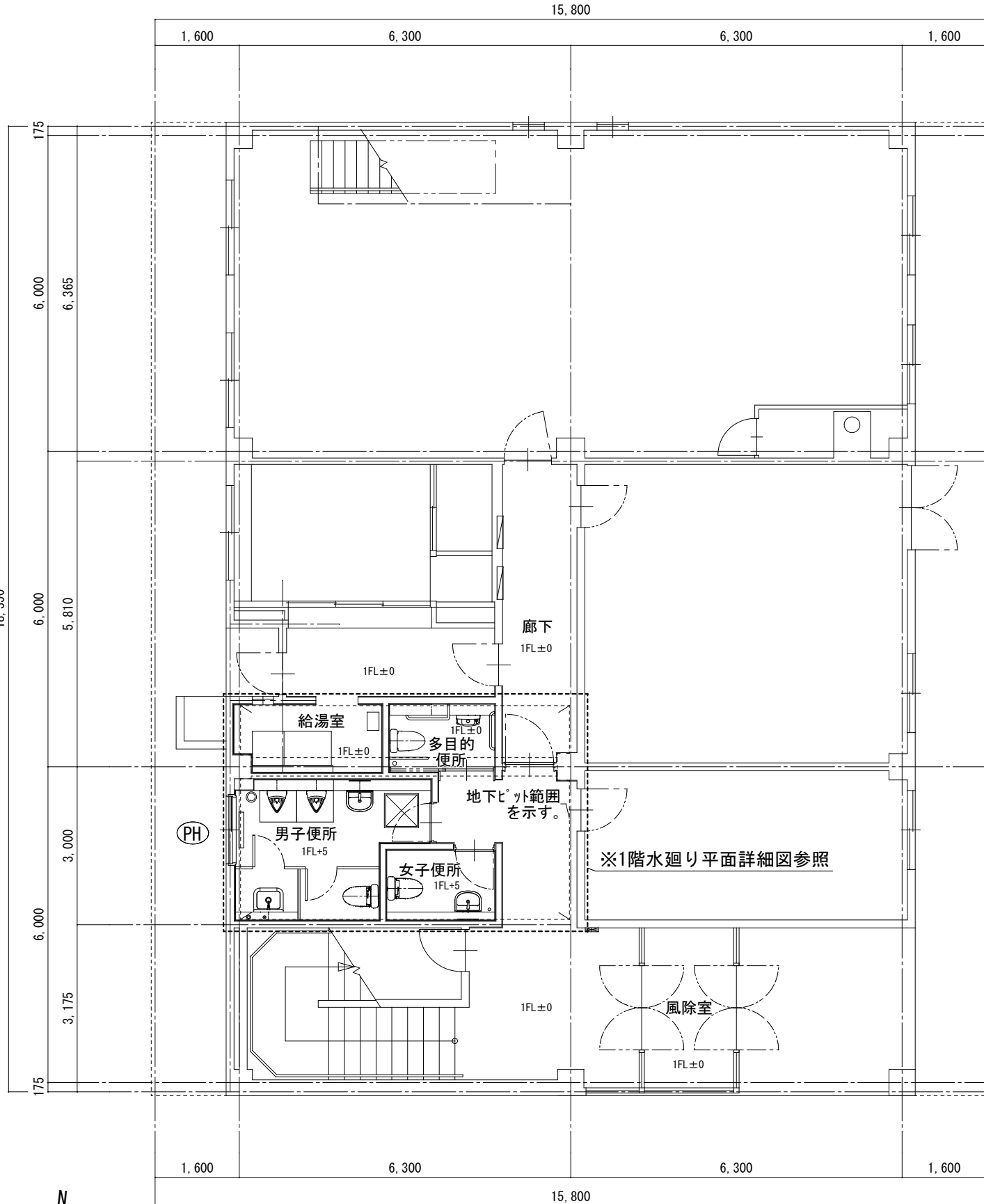
改修1階平面図



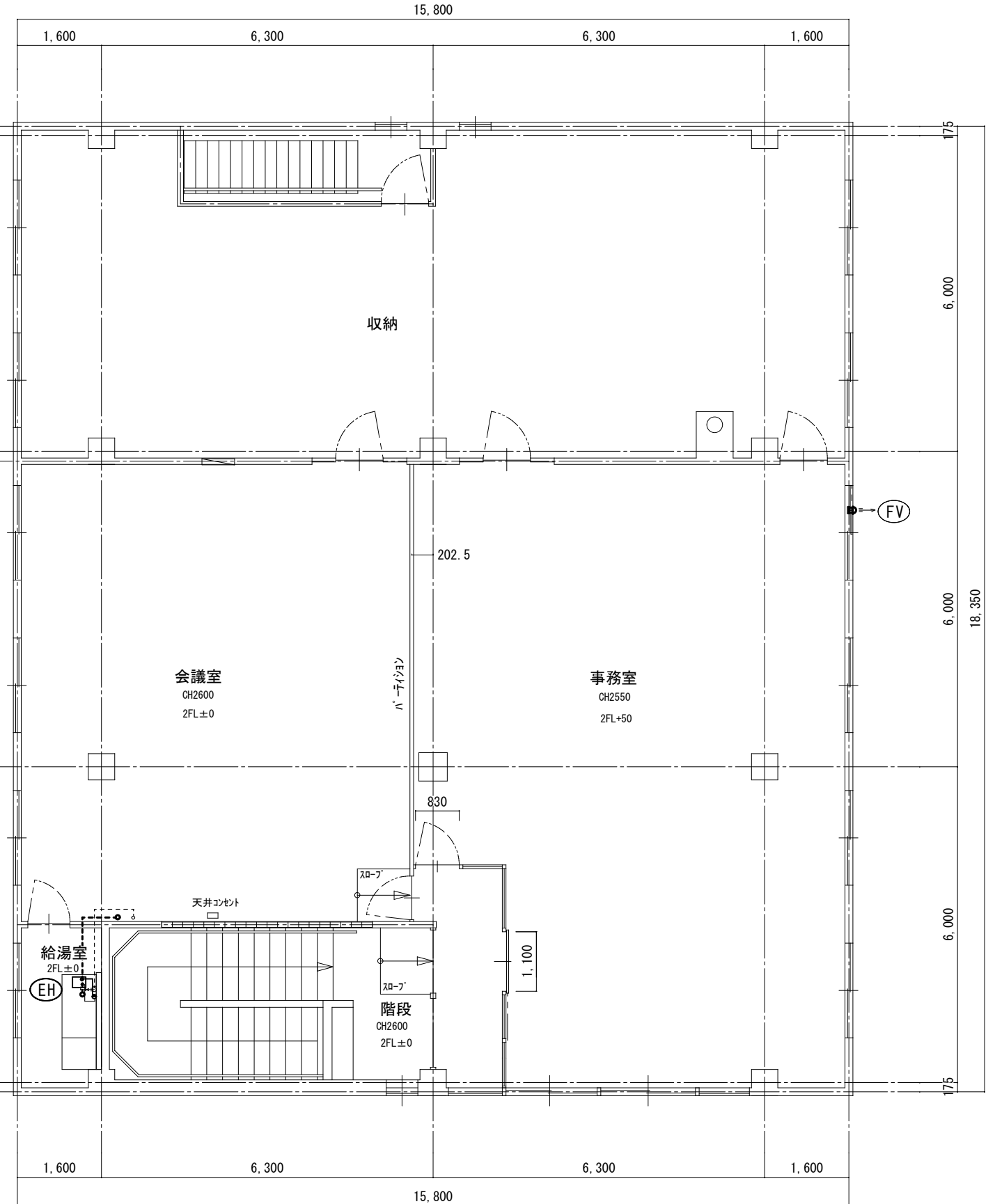
改修2階平面図

器具表													
名 称	UFH507GR			設置場所			男子便所	女子便所	多目的便所	2階給湯室		合 計	備 考
洋 風 便 器 (リモデル用)	CS230BM + SH232BF TCF6623			欄付二連紙巻器 YH650	附属品一式		1	1				2	TOTO
車いす対応便器	CS20AB + SS30BFKL TCF6623			欄付二連紙巻器 YH650	附属品一式				1			1	〃
小 便 器	UFH500 T6600PL			壁排水フランジ (50塩ビ管用) T9R	附属品一式		2					2	〃
洗 面 器	L210C T210S9RC			取付金具 TL250D	壁排水金物 TLDP2201J	止水栓 附属品一式	1	1				2	〃
コンパクト手洗器	LSL870APR			ハンドル式単水栓	壁排水 (P15)	附属品一式			1			1	〃
掃除流し	SK22A			横水栓 T23AEQ20C	床排水金物 T37SGEP	リムカバー TK22 附属品一式	1					1	〃
可動手すり	既 存 品								1			1	既存
L型手すり	既 存 品								1			1	既存
流 し 台	既 存 品									1		1	既存
シングルレバー混合栓	T3300R									1		1	TOTO
電気温水器	REW06A1BH									1		1	TOTO
									</				

機 器 表										
機器記号	名 称	機 器 仕 様	電気特性 60HZ				特記事項・付属品	数量	設 置 場 所 室 名	備 考
			相	電圧	出力 (W)	備考				
P・H	電気パネルヒーター	自然対流パネル型ヒーター 中容量スタンダードタイプ (横型タイプ)	1	100/200	1000		サーモスタット標準内臓 ブラケット附属 スチール製/粉体塗装仕上	1	男子便所	NY-1000 インターセントラル
F・V	パイプファン	電気式シャッター付 (グリル内部) 電源コード (プラグ付)	1	100	4.6				2階事務所	V-08PS7 P-13FS5 三菱電機



改修1階平面図



改修2階平面図

